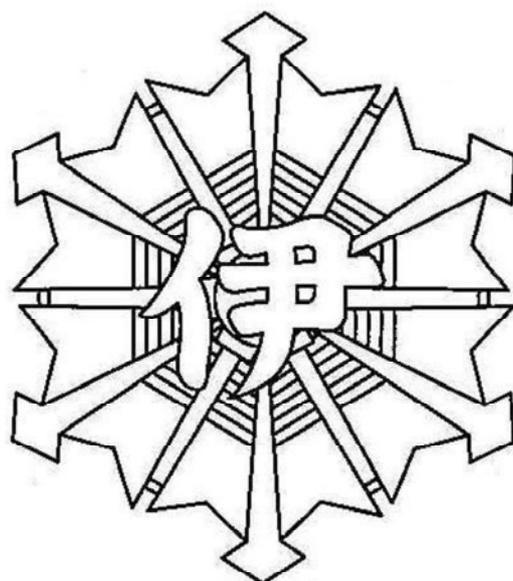


# 消 防 年 報

平 成 2 5 年 版



伊達地方消防組合消防本部

(平成 26 年 7 月刊行)

# は し が き

この年報は、伊達地方消防組合の現勢と消防諸般の事項を収録し、その現状を広く紹介することに併せ、消防行政の推進のため編集したものであります。

この資料を一つの参考として広域消防行政の実態をご理解いただき、より一層のご支援ご協力を賜れば幸いと存じます。

なお、各消防統計は、暦年又は年度で表し、また消防状況の逐年傾向を知るため必要なものについては過去にさかのぼり集録したものであります。

平成26年7月

伊達地方消防組合消防本部

# 目 次

1. 伊達地方消防組合のあゆみ	1
2. 伊達地方消防組合市町別・面積・世帯数・人口調	9
3. 伊達地方消防組合市町別・面積・人口・世帯数に対する消防力	9
4. 伊達地方消防組合管理者等及び組合議員等調	10
5. 総 務	
(1) 伊達地方消防組合・消防本部・消防署組織	12
(2) 伊達地方消防組合消防本部・消防署(分署)事務分掌	13
(3) 消防機関所在地	19
(4) 消防庁舎の現状	21
(5) 平成26年度一般会計予算	22
(6) 職員配置状況調	23
(7) 職員階級別勤続年数調	24
(8) 職員階級別年齢調	25
(9) 職員市町村別居住地調	25
(10) 職員研修状況調	26
(11) 職員特殊技能その他資格取得者調	27
6. 予 防	
火災統計	
平成25年火災概要	29
(1) 平成25年火災総括表	30
(2) 火災概況及び比較表	31
(3) 市町別・月別火災発生状況	32
(4) 火災件数と損害額	33
(5) 火災種別発生率	34
(6) 市町別火災発生率	34
(7) 時間別火災発生状況	35
(8) 覚知方法別出火件数	35
(9) 出火率の推移	36
(10) 火災による死傷者の推移	36
(11) 過去5年間における各市町火災発生状況	37
(12) 原因別火災発生状況	38
(13) 気象別出火件数調(湿度)	39
(14) 気象別出火件数調(風速)	39
(15) 曜日別出火件数調	40

(16) 気象別出火件数調(天候).....	40
(17) 全国及び福島県の火災記録(10年間).....	41

### 危険物統計

(1) 市町別危険物製造所等.....	43
(2) 倍数別危険物製造所等(完成検査済証交付施設).....	44
(3) 容量別屋外タンク貯蔵所(完成検査済証交付施設).....	44

### 予防統計

(1) 市町別・工事種別同意処理状況.....	46
(2) 市町別・月別同意処理状況.....	46
(3) 市町別・用途別建築同意処理状況.....	47
(4) 防火対象物施設数.....	48
(5) 防火対象物の階層別・面積別調.....	49
(6) 甲種防火対象物防火管理者選任届出状況.....	50
(7) 乙種防火対象物防火管理者選任届出状況.....	51
(8) 防火対象物立入検査実施状況.....	52
(9) 消防用設備等の届出、検査済証件数.....	53
(10) 火災予防条例等に基づく届出状況.....	54

## 7. 警 防

(1) 伊達地方消防組合消防本部・消防署(分署)及び消防機械配置図.....	56
(2) 消防本部(中央消防署)から分署・各市町間の距離.....	57
(3) 相互応援協定.....	58
(4) 現勢消防力調.....	59
(5) 消防水利現状調.....	59
(6) 消防車両等の現勢調.....	60
(7) 無線局配置状況調.....	62
(8) 消防機器材の現有状況.....	63

## 8. 救助統計

(1) 事故種別出場件数活動件数調.....	67
(2) 事故種別車両別救出者搬送人員調.....	67
(3) 事故種別出場人員活動人員調.....	68
(4) 事故種別出場車両及び活動車両等台数調.....	69
(5) 事故種別発生場所別出場件数及び活動件数調.....	70
(6) 事故種別発生場所別救助人員調.....	71

## 9. 救急統計

平成25年救急活動の概要.....	73
(1) 市町別・月別救急出場状況.....	74

(2) 市町別・事故種別救急出場状況	75
(3) 事故種別救急出場状況(前年比較)	76
(4) 搬送人員傷病程度別分類状況	77
(5) 搬送人員年齢別比率	77
(6) 市町別救急出場状況(前年比較)	78
(7) 急病にかかる疾病分類別傷病程度別搬送人員調	79
(8) 医療機関別搬送状況	80
(9) 一日の出場件数比率	81
(10) 事故種別救急出場件数比率	81
(11) 月別出場件数(前年比較)	82
(12) 事故種別・時間別救急出場状況	83
(13) 性別・年齢別搬送人員状況	84
(14) 過去5年間の事故種別救急出場状況	85
(15) 現場到着所要時間別出場件数調	86
(16) 収容時間別搬送人員数調	86
(17) 過去10年の救急出場件数	87
(18) 市町別の救急出場率及び搬送割合の推移	88
(19) 署・分署別救急出場状況(前年比較)	89
(20) 救急隊が人工呼吸・心臓マッサージを実施した傷病者調	90

## 伊達地方消防組合のあゆみ

- 昭和 36.11. 1 保原町に常備消防部新設、部員 5 名、消防ポンプ自動車 1 台配置される。
- 昭和 37. 4. 1 保原町常備消防部 部員 1 名増員、総員 6 名となる。
- 昭和 38.10.25 保原町常備消防部に小型動力ポンプ(B3級)1 台配置される。
- 昭和 41. 6. 1 常備消防協議会方式による桑折町、伊達町及び国見町 3 町常備消防部を桑折町字堰下 1 番地内に新設、部員 7 名、消防ポンプ自動車 1 台配置される。
- 昭和 42. 4.12 桑折町、伊達町及び国見町 3 町常備消防部に日本損害保険協会より消防ポンプ自動車 1 台寄贈される。
- 昭和 44. 4. 1 保原町常備消防部 部員 2 名増員、総員 8 名となる。
- 昭和 44.10. 1 梁川町に役場職員併任による常備消防部新設、部員 24 名、消防ポンプ自動車 1 台配置される。
- 昭和 44.11. 1 川俣町に常備消防部新設、部員 9 名、消防ポンプ自動車 1 台配置される。
- 昭和 45. 2. 1 桑折町、伊達町及び国見町 3 町常備消防部 部員 1 名増員、総員 8 名となる。
- 昭和 45. 4. 1 川俣町常備消防部 部員 2 名増員、総員 11 名となる。
- 昭和 46. 1.14 川俣町常備消防部に日本自動車工業会より救急車 1 台寄贈される。
- 昭和 46. 2. 消防に関する事務を共同処理するため、伊達地方消防組合の設立について、桑折町、伊達町、国見町、梁川町、保原町、霊山町及び月舘町の各町議会においてそれぞれ議決される。
- 昭和 46. 3. 9 福島県知事へ伊達地方消防組合設立の許可申請をする。
- 昭和 46. 4. 1 福島県指令地第 572 号をもって設立が許可され伊達地方消防組合が発足する。
- 昭和 46. 4. 1 川俣町常備消防部救急業務開始に伴い部員 2 名増員、総員 13 名となる。
- 昭和 46. 5. 1 伊達地方消防組合に消防本部を設置する。  
県より職員 1 名の派遣を受ける。
- 昭和 46. 9. 1 消防職員 1 名採用、総員 2 名となる。
- 昭和 46.10. 1 消防職員採用試験を実施する。
- 昭和 46.10.11 消防職員 13 名採用、総員 15 名となる。
- 昭和 46.10.21 消防本部、中央消防署及び東分署庁舎建設工事請負契約を締結する。
- 昭和 46.12.24 消防本部に司令車 1 台配置する。
- 昭和 47. 1. 7 消防職員 20 名採用、総員 35 名となる。
- 昭和 47. 2. 1 消防職員 1 名採用、総員 36 名となる。
- 昭和 47. 3.27 消防本部、中央消防署庁舎(鉄筋コンクリート一部 3 階建 973.73 m<sup>2</sup>、建設事業費 55,870 千円)を保原町大字大泉字大地内 93 番地内に新築、また東分署庁舎(鉄筋コンクリート 2 階建 377.71 m<sup>2</sup>、建設事業費 20,050 千円)を霊山町大字下小国字畑尻 45 番地内に新築する。
- 昭和 47. 3.28 日本損害保険協会より救急車(3B型)1 台寄贈される。
- 昭和 47. 4. 1 伊達地方消防組合に中央消防署を設置し、署に東分署、西分署及び北分署を設置する。  
中央消防署に消防ポンプ自動車 1 台及び救急車(3B型)1 台配置、東分署、西分署及び北分署に消防ポンプ自動車各 1 台配置し、消防救急業務を開始する。  
保原町より職員 1 名、霊山町より職員 1 名の派遣を受ける。  
桑折町、伊達町及び国見町 3 町常備部より職員 8 名、梁川町常備部より職員 1 名及び保原町常備部より職員 7 名採用、総員 54 名となる。
- 昭和 47. 4. 1 川俣町常備消防部 部員 2 名増員、総員 15 名となる。
- 昭和 47. 5. 1 消防職員 30 名採用、総員 84 名となる。

- 昭和 47. 7.15 日本船舶振興会より救急車(2B型)1台寄贈され西分署に配置する。
- 昭和 47. 8.28 西分署及び北分署庁舎建設工事請負契約を締結する。
- 昭和 48. 1.20 中央消防署、東分署、西分署及び北分署に消防ポンプ自動車各1台配置する。  
中央消防署及び東分署に広報連絡車各1台配置する。  
東分署及び北分署に可搬式小型動力ポンプ1台配置する。
- 昭和 48. 1.30 西分署及び北分署に広報連絡車各1台配置する。
- 昭和 48. 3.27 西分署庁舎(鉄筋コンクリート2階建 570.92 m<sup>2</sup>、建設事業費 31,700 千円)を桑折町大字上郡字楽5番地内に新築、また北分署庁舎(鉄筋コンクリート2階建 382.97 m<sup>2</sup>、建設事業費 23,910 千円)を梁川町字東塩野川 63 番地内に新築する。
- 昭和 48. 3.31 派遣職員1名霊山町に復帰、総員 83 名となる。
- 昭和 48. 4. 1 川俣町及び飯野町が伊達地方消防組合に加入する。  
中央消防署に南分署を設置し、消防ポンプ自動車1台、救急車(2B型)1台をもって消防救急業務を開始する。  
川俣町より職員1名の派遣を受ける。  
川俣町常備消防部より職員 14 名、消防職員 8 名採用、総員 106 名となる。
- 昭和 48. 5.20 南分署に広報連絡車1台配置する。
- 昭和 48. 6. 1 消防職員1名採用、1名退職、総員 106 名となる。
- 昭和 48.10.30 東分署及び北分署に救急車各1台配置する。
- 昭和 48.11.29 日本自動車工業会より救急車(2B型)1台寄贈され南分署に配置する。
- 昭和 49. 3.13 南分署に消防ポンプ自動車及び可搬式小型動力ポンプ各1台配置する。
- 昭和 49. 3.15 中央消防署に水槽付消防ポンプ自動車(水槽 1,900ℓ、発動発電投光器、三連はしご装備)1台配置する。
- 昭和 49. 3.28 西分署に化学消防ポンプ自動車(薬液槽 500ℓ、水槽 1,800ℓ、低発泡及び高発泡発生放射装置、自動噴霧装置、三連はしご装備)1台配置する。
- 昭和 49. 4. 1 派遣職員1名県に復帰、月舘町より職員1名の派遣を受ける。  
消防職員 10 名採用、総員 116 名となる。
- 昭和 49.11. 1 南分署配置の消防ポンプ自動車1台を川俣町に返還する。
- 昭和 50. 1.17 南分署に消防ポンプ自動車1台配置する。
- 昭和 50. 2.13 中央消防署に救助工作車1台配置する。
- 昭和 50. 4. 1 東北高速自動車道、郡山～白石間の開通に伴い、救急業務を開始する。  
消防職員 5 名採用、総員 121 名となる。
- 昭和 50. 6.30 派遣職員1名川俣町に復帰、総員 120 名となる。
- 昭和 50. 8. 1 消防職員1名退職、総員 119 名となる。
- 昭和 50.11. 1 消防本部配置の司令車1台更新する。
- 昭和 51. 3. 4 西分署に救急車(2B型)1台配置する。
- 昭和 51. 6.30 派遣職員1名月舘町に復帰、総員 118 名となる。
- 昭和 51.10. 1 消防本部に予防査察車1台配置する。
- 昭和 52. 1.14 南分署配置の救急車(2B型)1台更新する。  
中央消防署及び西分署に可搬式小型動力ポンプ各1台配置する。
- 昭和 52. 3.31 消防職員1名退職、総員 117 名となる。
- 昭和 52. 4. 1 消防職員 9 名採用、総員 126 名となる。
- 昭和 52.10.27 中央消防署及び東分署配置の広報連絡車各1台更新する。
- 昭和 53. 2.28 消防職員1名退職、総員 125 名となる。

- 昭和 53. 4.20 消防職員 1 名退職、総員 124 名となる。
- 昭和 54. 1.27 西分署及び北分署配置の広報連絡車各 1 台更新する。
- 昭和 54. 1.31 中央消防署配置の救急車(2B型)1 台更新する。
- 昭和 54. 2. 3 北分署配置の消防ポンプ自動車を水槽付消防ポンプ自動車(水槽 2,000ℓ、発動発電投光器、三連はしご装備)に更新する。
- 昭和 54. 3. 5 北分署配置の消防ポンプ自動車 1 台を梁川町に譲渡する。
- 昭和 54. 4. 1 消防職員 10 名採用、1 名退職、総員 133 名となる。
- 昭和54年.10.26 中央消防署訓練場用地 2,911 m<sup>2</sup>を取得拡張整備する。
- 昭和 54.10.30 南分署配置の広報連絡車 1 台更新する。  
西分署配置の救急車(2B型)1 台更新する。
- 昭和 54.12. 7 中央消防署及び西分署配置の消防ポンプ自動車各 1 台更新する。  
東分署及び南分署配置の消防ポンプ自動車を水槽付消防ポンプ自動車(水槽 2,000ℓ、発動発電投光器、三連はしご装備)に更新する。
- 昭和 54.12.13 中央消防署配置の消防ポンプ自動車を伊達町に、東分署配置の消防ポンプ自動車を霊山町に、西分署配置の消防ポンプ自動車を国見町にそれぞれ譲渡する。
- 昭和 54.12.14 南分署配置の消防ポンプ自動車 1 台を飯野町に譲渡する。
- 昭和 55. 7.28 訓練塔本体新築工事請負契約を締結する。
- 昭和 55.10. 1 南分署配置の救急車(2B型)1 台更新する。
- 昭和 55.12.18 東分署及び北分署配置の消防ポンプ自動車各 1 台更新する。
- 昭和 55.12.27 東分署配置の消防ポンプ自動車 1 台を月舘町に譲渡する。
- 昭和 56. 1.16 北分署配置の消防ポンプ自動車 1 台を梁川町に譲渡する。
- 昭和 56. 1.25 高所訓練塔(鉄筋コンクリート 5 階建 245 m<sup>2</sup>)耐熱耐炎訓練塔兼補助塔(鉄筋コンクリート 2 階建 495.5 m<sup>2</sup>)建築事業費 86,400 千円で新築する。
- 昭和 56. 3.31 県消防学校へ 1 名派遣、1 名退職、総員 132 名となる。
- 昭和 56. 4.30 消防職員 1 名退職、総員 131 名となる。
- 昭和 56. 6.20 消防職員 1 名退職、総員 130 名となる。
- 昭和 56. 7. 7 第 4 回福島県消防救助技術大会を当消防本部中央消防署訓練場にて開催する。
- 昭和 56. 9.30 消防職員 1 名退職、総員 129 名となる。
- 昭和 56.11. 3 消防職員 1 名採用、総員 130 名となる。
- 昭和 56.11.16 東分署及び北分署配置の救急車各 1 台更新する。
- 昭和 56.12.24 中央消防署配置の消防ポンプ自動車 1 台更新する。
- 昭和 57. 1.18 中央消防署配置の消防ポンプ自動車 1 台を保原町に譲渡する。
- 昭和 57. 3.15 中央消防署にはしご付消防ポンプ自動車(24M 級)1 台配置する。
- 昭和 57. 3.25 福島県共済農業協同組合連合会より救急車(2B型)1 台寄贈され、西分署に配置する。
- 昭和 57. 3.31 消防職員 1 名退職、総員 129 名となる。
- 昭和 57. 4. 1 消防職員 3 名採用、総員 132 名となる。
- 昭和 57. 4.21 消防職員 1 名退職、総員 131 名となる。
- 昭和 57. 9.30 消防本部配置の司令車、査察車各 1 台更新する。
- 昭和 58. 1.31 西分署配置の救急車更新に伴い旧車両を水防用人員資器材搬送車に改造、消防本部に配置する。
- 昭和 58. 2.26 西分署及び南分署配置の消防ポンプ自動車各 1 台更新する。
- 昭和 58. 3.10 南分署配置の消防ポンプ自動車 1 台を川俣町に譲渡する。
- 昭和 58. 3.11 西分署配置の消防ポンプ自動車 1 台を桑折町に譲渡する。

- 昭和 58. 4. 1 消防職員 8 名採用、総員 139 名となる。
- 昭和 58. 5.30 消防本部に事務連絡車 1 台配置する。
- 昭和 58.11.21 中央消防署配置の救急車(予備車)1 台更新する。
- 昭和 59. 2. 2 中央消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車並びに西分署配置の化学消防ポンプ自動車各 1 台更新する。
- 昭和 59. 2.24 中央消防署配置の救急車(予備車)更新に伴い旧車両を指揮広報車に改造、消防本部に配置する。
- 昭和 59. 2.25 中央消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車を梁川町に、西分署配置の化学消防ポンプ自動車を川俣町に譲渡する。
- 昭和 59. 4.30 消防職員 1 名退職、総員 138 名となる。
- 昭和 59. 9.27 中央消防署及び東分署配置の広報連絡車各 1 台更新する。
- 昭和 59.11.10 中央消防署厚生室、仮眠室(72 m<sup>2</sup>)を増築する。
- 昭和 60. 3. 6 伊達地方消防組合並びに川俣町消防団が自治省消防長官より表彰(竿頭授与)される。
- 昭和 60. 4. 1 伊達地方消防組合消防本部の組織に関する規則の一部を改正、消防課を警防課、予防課の 2 課に改組する。
- 昭和 60. 4. 1 消防職員 5 名採用、総員 143 名となる。
- 昭和 60. 6.22 消防本部配置の査察車 1 台更新する。
- 昭和 60. 8.20 消防本部配置の査察車更新に伴い旧車両を照明車に改造、中央消防署に配置する。
- 昭和 60.11.19 中央消防署配置の救助工作車 1 台更新する。
- 昭和 61. 2.24 東分署、南分署及び北分署配置の小型動力ポンプ各 1 台更新する。
- 昭和 61. 3.25 福島県共済農業協同組合連合会より救急車(2B型)1 台寄贈され、中央消防署配置の救急車を更新する。
- 昭和 61. 3.31 中央消防署配置の救急車更新に伴い旧車両を指揮広報車に改造、消防本部に配置する。
- 昭和 61. 4.12 消防職員 1 名退職、総員 142 名となる。
- 昭和 61. 6.10 消防本部配置の水防用人員資器材搬送車 1 台更新する。
- 昭和 61. 7. 9 中央消防署及び西分署の小型動力ポンプ各 1 台更新する。
- 昭和 61. 7.10 車庫兼資材庫(鉄骨ブロック造 60 m<sup>2</sup>)を新築する。
- 昭和 62. 5.15 伊達地方消防組合消防本部並びに梁川町消防団が 8.5 水害救援救助活動によって福島県知事より表彰(竿頭授与)される。
- 昭和 62. 6. 8 中央消防署に消防用トラック(2t)1 台配置する。
- 昭和 62. 8.31 (財)日本消防協会より救急車(2B型)1 台寄贈され、西分署配置の救急車を更新する。
- 昭和 62.12. 1 西分署配置の救急車更新に伴い旧車両を水防用人員資器材搬送車に改造、消防本部に配置する。
- 昭和 62.12.28 南分署庁舎炊事室(9.5 m<sup>2</sup>)を増築する。
- 昭和 63. 1.25 消防本部配置の旧水防用人員資器材搬送車 1 台廃車する。
- 昭和 63. 4. 1 消防職員 2 名採用、総員 144 名となる。
- 昭和 63. 8. 1 西分署及び南分署配置の広報連絡車各 1 台更新する。
- 平成 元. 3.31 消防職員 1 名退職、総員 143 名となる。
- 平成 元. 4. 3 消防職員 1 名採用、総員 144 名となる。
- 平成 元.6.29 第 12 回福島県消防救助技術大会を当消防本部中央消防署訓練場にて開催する。
- 平成 元.12.15 北分署配置の広報連絡車 1 台更新する。
- 平成 2. 1.31 南分署配置の救急車 1 台更新する。

平成	2. 4. 1	4 週 6 休制実施(3 部制試行)する。
平成	2.10.15	東分署及び北分署配置の救急自動車各 1 台更新する。
平成	3. 3.31	消防職員 1 名退職、総員 143 名となる。
平成	3.12.18	西分署配置の救急車 1 台更新する。
平成	4. 1.16	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を梁川町に譲渡する。
平成	4. 2. 7	北分署配置の水槽付消防ポンプ自動車 1 台更新する。
平成	4. 3.31	消防職員 1 名退職、総員 142 名となる。
平成	4. 4. 1	消防職員 3 名採用、総員 145 名となる。
平成	4.10.26	消防職員 1 名退職、総員 144 名となる。
平成	4.12. 2	消防ポンプ自動車 1 台を月舘町に譲渡する。
平成	5. 1.29	東分署配置の消防ポンプ自動車 1 台更新する。
平成	5. 2.14	完全週休 2 日制を実施する。
平成	5. 3.26	福島県共済農業協同組合連合会より救急車(2B型)1 台寄贈され、中央消防署配置の救急車(予備車)を更新する。
平成	5. 3.31	消防職員 1 名退職、総員 143 名となる。
平成	5. 9.30	財団法人日本防火協会より防火広報車 1 台寄贈される。
平成	5 .10.31	消防職員 1 名退職、総員 142 名となる。
平成	6 . 3.10	中央消防署及び北分署配置の消防ポンプ自動車各 1 台更新する。
平成	6 . 3.31	消防職員 1 名退職、総員 141 名となる。
平成	6 . 4. 1	福島県消防学校に職員 1 名を平成 8 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
平成	6 . 6.30	消防職員 1 名退職、総員 140 名となる。
平成	6 . 9.13	消防本部配置の司令車 1 台を更新し、旧車両を連絡車として消防本部に配置する。
平成	6 . 9.30	消防本部配置の事務連絡車 1 台廃車する。
平成	7 . 1.24	東分署配置の水槽付消防ポンプ自動車 1 台更新する。
平成	7 . 3.31	消防職員 1 名退職、総員 139 名となる。
平成	7 . 6.30	消防職員 1 名退職、総員 138 名となる。
平成	7 . 7. 9	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を月舘町に譲渡する。
平成	7 . 9.13	消防本部配置の連絡車 1 台廃車する。
平成	7 . 9.26	南分署配置の水槽付消防ポンプ自動車 1 台更新する。
平成	8 . 4. 1	消防職員 3 名採用、総員 141 名となる。
平成	8 . 9.20	中央消防署及び東分署配置の広報連絡車各 1 台更新する。
平成	8 .10.14	西分署及び南分署配置の消防ポンプ自動車各 1 台更新する。
平成	8 .10.25	消防ポンプ自動車 1 台を梁川町に譲渡する。
平成	8 .12.25	消防本部に事務連絡車 1 台配置する。
平成	9 . 3.31	消防職員 1 名退職、総員 140 名となる。
平成	9 . 6.23	消防本部配置の査察車 1 台更新する。
平成	9 .12.18	中央消防署配置の救急自動車を高規格救急自動車に更新する。
平成	10. 4. 1	高度救急業務を開始する。 消防職員 3 名採用、総員 143 名となる。 福島県消防防災航空隊に職員 1 名を平成 13 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
平成	10.10.28	中央消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車 1 台更新する。

- 平成 10.11.13 水槽付消防ポンプ自動車 1 台を梁川町に譲渡する。
- 平成 11. 3. 8 西分署配置の救急自動車を高規格救急自動車に更新する。
- 平成 11. 3.30 福島総合警備保障株式会社より広報連絡車(トヨタカルディナバン 1500cc)1 台寄贈され南分署配置の広報連絡車を更新する。
- 平成 11. 3.31 消防職員 1 名退職、総員 142 名となる。
- 平成 11.11.29 西分署配置の化学消防ポンプ自動車 1 台更新する。
- 平成 12. 3.31 消防職員 1 名退職、総員 141 名となる。
- 平成 12. 4. 1 消防職員 4 名採用、総員 145 名となる。
- 平成 12. 9.30 消防職員 1 名退職、総員 144 名となる。
- 平成 12.11.28 南分署配置の救急自動車 1 台更新する。
- 平成 12.12. 8 西分署配置の高規格救急自動車 1 台を南分署に、南分署配置の救急自動車 1 台を西分署にそれぞれ配置替えする。
- 平成 13. 1.10 中央消防署配置の救助工作車 1 台更新する。
- 平成 13. 3.31 消防職員 4 名退職、総員 140 名となる。
- 平成 13. 7.31 消防職員 1 名退職、総員 139 名となる。
- 平成 13.11.12 西分署配置の広報連絡車 1 台更新する。
- 平成 13.11.14 東分署及び北分署配置の救急自動車各 1 台更新する。
- 平成 14. 2. 6 消防本部配置の人員資器材搬送車 1 台更新する。
- 平成 14. 3.31 消防職員 1 名退職、総員 138 名となる。
- 平成 14. 4. 1 消防職員 5 名採用、総員 143 名となる。  
福島県消防防災航空隊に職員 1 名を平成 16 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 15. 2.26 北分署庁舎(鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2 階建 560.57 m<sup>2</sup>、建設事業費 209,837 千円)を梁川町希望ヶ丘 97 番地の 1 に新築移転する。
- 平成 15. 4. 1 消防職員 3 名採用、総員 146 名となる。
- 平成 15. 6.30 全国共済農業協同組合連合会より救急車(2B型)1 台寄贈され西分署配置の救急車 1 台更新する。
- 平成 16. 3.31 消防職員 2 名退職、総員 144 名となる。
- 平成 16. 4. 1 消防職員 3 名採用、総員 147 名となる。  
福島県消防学校に職員 1 名を平成 18 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 16.10.23 新潟県中越地震被災地に緊急消防援助隊福島県隊として 2 隊 5 名派遣する。
- 平成 17. 3.31 消防職員 2 名退職、総員 145 名となる。
- 平成 17. 4. 1 消防職員 4 名採用、総員 149 名となる。
- 平成 17.11. 4 中央消防署に指揮兼照明車 1 台配置する。  
北分署配置の広報連絡車 1 台更新する。
- 平成 18. 1. 1 伊達町、梁川町、保原町、霊山町及び月舘町が合併し、伊達市となり、1 市 4 町で構成する消防組合となる。
- 平成 18. 3.31 消防職員 3 名退職、総員 146 名となる。
- 平成 18. 4. 1 消防職員 4 名採用、総員 150 名となる。  
福島県消防防災航空隊に職員 1 名を平成 20 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 18. 4.10 平成 18 年 1 月 1 日伊達市設置に伴い、福島県知事へ伊達地方消防組合同規約変更の許可申請をする。
- 平成 18. 5. 1 福島県指令北振第 69 号をもって規約変更が許可される。
- 平成 19. 3.31 消防職員 6 名退職、総員 144 名となる。

- 平成 19. 4. 1 消防職員7名採用、総員 151 名となる。
- 平成 19. 9. 5 消防本部配置の防火広報車1台更新する。
- 平成 19.12.22 中央消防署配置の救急自動車(予備車)1台を高規格救急自動車に更新し、南分署に配置、南分署配置の救急自動車を中央消防署(予備車)に配置替えする。
- 平成 20. 3.27 地方自治法の一部を改正する法律の施行により、収入役制度が会計管理者制度となったこと並びに平成 20 年 7 月 1 日をもって飯野町が福島市に編入合併となることに伴い、福島県知事へ伊達地方消防組合同規約変更の許可申請をする。
- 平成 20. 3.31 福島県指令北振第 7028 号をもって規約変更が許可される。  
消防職員 7 名退職、総員 144 名となる。
- 平成 20. 4. 1 消防職員 8 名採用、総員 152 名となる。  
福島県消防防災航空隊に職員 1 名を平成 22 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 20. 5.14 東分署訓練場等拡張用地 957 m<sup>2</sup>を取得する。
- 平成 20. 6.14 岩手・宮城内陸地震被災地に緊急消防援助隊福島県隊として 2 隊 6 名派遣する。
- 平成 20. 7. 1 飯野町が福島市に編入合併したことに伴い、1 市 3 町の消防組合となる。  
福島市より旧伊達郡飯野町の区域における消防事務(消防団に関する事務並びに水利施設の設置、維持及び管理に関する事務を除く。)の委託を受ける。
- 平成 20. 7.24 岩手県沿岸北部地震被災地に緊急消防援助隊福島県隊として 2 隊 6 名派遣する。
- 平成 20.10.31 東分署訓練場等敷地を拡張造成する。
- 平成 21. 2.20 財団法人日本消防協会より指揮広報車(スバルレガシー2000cc)1 台寄贈される。
- 平成 21. 3.12 財団法人日本消防協会寄贈の指揮広報車 1 台を消防本部に配置する。  
東分署配置の消防ポンプ自動車 1 台更新する。  
北分署配置の水槽付消防ポンプ自動車(圧縮泡消火システム搭載)1 台更新する。
- 平成 21. 3.31 消防職員 10 名退職、総員 142 名となる。
- 平成 21. 4. 1 消防職員 9 名採用、総員 151 名となる。
- 平成 21. 12.22 中央消防署配置の高規格救急自動車 1 台及び資機材搬送車 1 台それぞれ更新する。
- 平成 22. 2. 8 北分署配置の消防ポンプ自動車 1 台更新する。
- 平成 22. 3.31 消防職員 8 名退職、総員 143 名となる。
- 平成 22. 4. 1 消防職員 10 名採用、総員 153 名となる。  
福島県消防学校に職員1名を平成 24 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 22.10. 1 家庭救命士制度創設。普通救命講習3回以上受講者に対し交付開始する。
- 平成 23. 3.11 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)発生、警防本部を設置のうえ、全職員体制で災害に対応する。大震災に伴い、東京電力福島第一原子力発電所で事故発生、放射能漏えいが起こる。福島県広域消防相互応援協定に基づき、浜通りで応援活動を行う。
- 平成 23. 3.14 中央消防署配置のはしご付消防自動車 1 台更新する。
- 平成 23. 3.31 消防職員 7 名退職、総員 146 名となる。
- 平成 23. 4. 1 消防職員 7 名採用、総員 153 名となる。
- 平成 23. 4.22 原発事故の影響により、川俣町山木屋地区が、隣接の相馬郡飯舘村等とともに計画的避難区域に指定され、同地区住民が避難を強いられる。以後、居住者のいない山木屋地区で想定される火災の大規模化に対応するため、火災予防巡回を展開する。
- 平成 23. 5. 1 東日本大震災と原発事故の影響により、平成 23 年 4 月 1 日付予定の定期人事異動が 1 カ月遅れで行われる。
- 平成 23. 5.25 原発事故による警戒区域等からの避難者の一時帰宅に対し、傷病者発生時対応のため平成 23 年 8 月 26 日まで延べ救急隊 21 隊及び支援隊 16 隊の派遣協力を行う。
- 平成 24. 2.20 中央消防署配置の消防ポンプ自動車 1 台及び同配置の水槽付消防ポンプ自動車(圧縮泡消火システム搭載)1 台をそれぞれ更新する。旧水槽付消防ポンプ自動車は、東分署

- に配置替えし、東分署の水槽付消防ポンプ自動車を、伊達市に譲渡する。
- 平成 24. 2.28 原発事故による計画的避難区域である川俣町山木屋地区の火災対応のため、南分署の水槽付消防ポンプ自動車と北分署の水槽付消防ポンプ自動車(圧縮泡消火システム搭載)を配置替えする。
- 平成 24. 3.28 全国共済農業協同組合連合会より高規格救急自動車 1 台寄贈される。
- 平成 24. 3.29 原発事故による計画的避難区域である川俣町山木屋地区の火災対応のため、大阪府高槻市消防本部より、小型動力ポンプ付水槽車 1 台の無償譲渡を受ける。
- 平成 24. 3.31 消防職員 9 名退職、総員 144 名となる。
- 平成 24. 4. 1 消防職員 11 名採用、総員 155 名となる。
- 福島県消防学校に職員 1 名を平成 26 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 24. 4. 6 平成 24 年 3 月 28 日全国共済農業協同組合連合会から寄贈された高規格救急自動車を西分署に、平成 24 年 3 月 29 日に大阪府高槻市消防本部から無償譲渡された小型動力ポンプ付水槽車を南分署にそれぞれ配置する。
- 平成 25. 1.21 東分署配置の高規格救急自動車 1 台更新する。
- 平成 25. 2.12 南分署配置の水槽付消防ポンプ自動車 1 台更新する。
- 平成 25.3.31 消防職員 3 名退職、総員 152 名となる。
- 平成 25. 4. 1 消防職員 11 名採用、総員 163 名となる。
- 福島県消防防災航空隊に職員 1 名を平成 28 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 25.12.20 南分署の広報連絡車と東分署の広報連絡車を配置替えする。
- 平成 25.12.25 消防本部配置の査察車 1 台、中央消防署及び東分署配置の広報連絡車各 1 台をそれぞれ更新する。
- 平成 26. 1.10 西分署及び南分署配置の消防ポンプ自動車各 1 台更新する。
- 平成 26. 1.24 消防本部配置の事務連絡車 1 台更新する。
- 平成 26. 3. 4 北分署配置の救急自動車 1 台を高規格救急自動車に更新する。
- 平成 26.3.31 消防職員 19 名退職、総員 144 名となる。
- 平成 26. 4. 1 消防職員 10 名採用、総員 154 名となる。

## 伊達地方消防組合市町別・面積・世帯数・人口調

(平成26年4月1日現在)

市町別	区分	面積 (km <sup>2</sup> )	世帯数 (世帯)	人 口		
				計(人)	男(人)	女(人)
伊 達 市		265.10	22,176	64,131	31,297	32,834
桑 折 町		42.97	4,510	12,506	5,963	6,543
国 見 町		37.90	3,410	9,893	4,743	5,150
川 俣 町		127.66	5,566	14,866	7,351	7,515
計		473.63	35,662	101,396	49,354	52,042
福島市飯野町 (事務受託区域)		21.31	1,898	5,786	2,860	2,926
合 計		494.94	37,560	107,182	52,214	54,968

※平成20年7月1日伊達郡飯野町が福島市に編入合併となったことに伴い、福島市より同区域における常備消防事務の委託を受ける。

## 伊達地方消防組合市町別・面積・人口・世帯数に対する消防力

(平成26年4月1日現在)

市町別	区分	管轄署(分署)	消防吏員1人当り		消防団員1人当り		消防ポンプ1台当り		
			人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	面積km <sup>2</sup>
伊達市保原町		消防本部・中央消防署	696.0	243.9	48.7	16.8	534.4	184.8	2.2
伊達市梁川町	中央消防署北分署								
伊達市霊山町	中央消防署東分署								
伊達市月舘町									
伊達市 (旧伊達町)	中央消防署西分署								
桑折町		37.6			13.5	500.2	180.4	1.7	
国見町		39.3			13.5	494.7	170.5	1.9	
川俣町		29.3			11.0	337.9	126.5	2.9	
福島市飯野町 (事務受託区域)	中央消防署南分署	—			—	—	—	—	
1市3町及び事務受託区域1	1本部・1署・4分署	696.0	243.9	42.1	14.8	485.1	170.6	2.3	

※ 消防ポンプは団ポンプ、可搬ポンプも含む。

## 伊達地方消防組合管理者等及び組合議員等調

### 管 理 者 等

(平成26年6月1日現在)

職 名	氏 名	現 職 名	備 考
管 理 者	仁 志 田 昇 司	伊 達 市 長	
副 管 理 者	高 橋 宣 博	桑 折 町 長	
〃	太 田 久 雄	国 見 町 長	
〃	古 川 道 郎	川 俣 町 長	
会 計 管 理 者	遠 藤 由 子	伊 達 市 会 計 管 理 者	

### 組 合 議 員

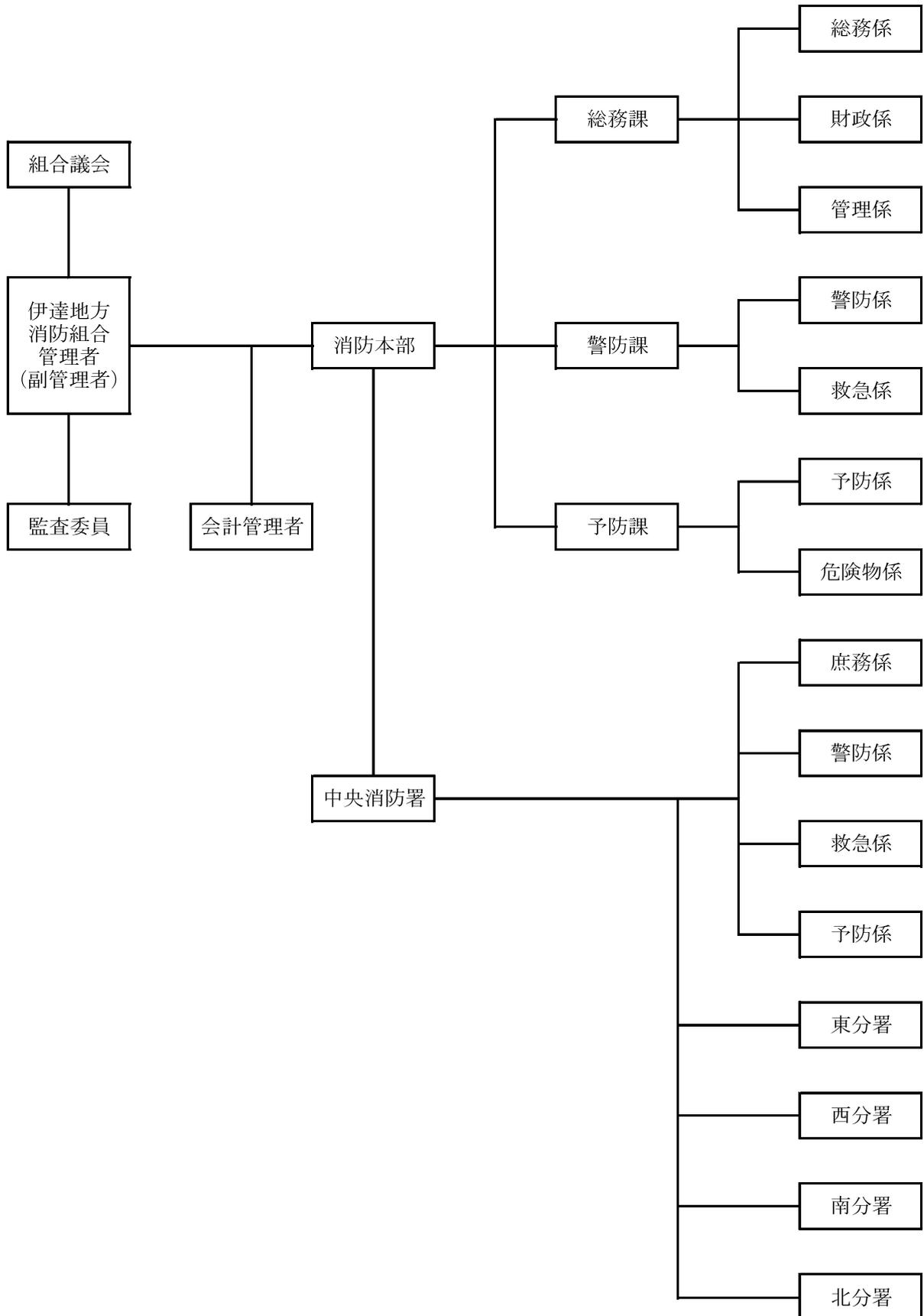
議 長	佐 々 木 彰	伊 達 市 議 会 議 員	
副 議 長	原 賢 志	桑 折 町 議 会 議 員	
議 員	佐 藤 武 朗	桑 折 町 議 会 議 員	
〃	渡 辺 勝 弘	国 見 町 議 会 議 員	
〃	浅 野 富 男	〃 議 会 議 員	
〃	橘 典 雄	伊 達 市 議 会 議 員	
〃	佐 藤 清 壽	〃 議 会 議 員	
〃	菊 地 邦 夫	〃 議 会 議 員	
〃	小 野 誠 滋	〃 議 会 議 員	
〃	大 條 一 郎	〃 議 会 議 員	
〃	半 澤 隆	〃 議 会 議 員	
〃	高 橋 真 一 郎	川 俣 町 議 会 議 員	
〃	鳴 原 利 光	〃 議 会 議 員	

### 監 査 委 員

委 員	佐 藤 静 雄		識 見 者
〃	高 橋 真 一 郎		議 会 選 出

# 総務

# 伊達地方消防組合・消防本部・消防署組織



# 伊達地方消防組合消防本部・消防署(分署)事務分掌

## 消防本部事務分掌

### 総務課

- 1 組織及び総合企画、調整に関すること。
- 2 職員の任免、分限、懲戒、服務その他身分に関すること。
- 3 職員の給与その他勤務条件に関すること。
- 4 条例、規則及び規程等に関すること。
- 5 公印の管理に関すること。
- 6 叙位、叙勲及び表彰に関すること。
- 7 文書の收受、発送、編集及び保存に関すること。
- 8 職員の教養及び研修に関すること。
- 9 財務に関すること。
- 10 職員の服制に関すること。
- 11 職員の給貸与品に関すること。
- 12 職員の健康管理及び福利厚生に関すること。
- 13 職員の公務災害等補償に関すること。
- 14 職員の共済事務等に関すること。
- 15 消防の広報及び消防統計に関すること。
- 16 消防長会に関すること。
- 17 消防施設の維持管理及び営繕に関すること。
- 18 伊達地方消防組合事務に関すること。
- 19 その他特命事項に関すること。
- 20 その他、他の主管に属さない事項に関すること。

### 警防課

- 1 火災その他災害の警戒及び防ぎよに関すること。
- 2 消防計画及び訓練に関すること。

- 3 消防対策の企画立案及び総合調整に関すること。
- 4 消防通信に関すること。
- 5 消防の地理、水利に関すること。
- 6 消防車両の整備に関すること。
- 7 各種消防装備資器材等の整備、管理に関すること。
- 8 消防装備資器材の取り扱い及び技術開発研究に関すること。
- 9 警防隊の総合運用に関すること。
- 10 職員の教養訓練に関すること。
- 11 救急業務に関すること。
- 12 防災及び救急医療機関との連絡調整に関すること。
- 13 救助業務に関すること。
- 14 特命救助隊に関すること。
- 15 消防相互応援に関すること。
- 16 警防、救急、救助統計及び消防情報に関すること。
- 17 救急隊及び救助隊の運用に関すること。
- 18 救急知識の普及向上に関すること。
- 19 災害防除及び救助技術の研究、指導、訓練に関すること。
- 20 職員の安全管理に関すること。
- 21 救急及び救助用装備資器材の整備、管理に関すること。
- 22 災害の受付及び出場指令に関すること。
- 23 災害通信の運用及び通信統制に関すること。
- 24 救急搬送証明に関すること。
- 25 防災会議及び災害対策本部に関すること。
- 26 消防団との連絡協調に関すること。
- 27 消防協会伊達支部に関すること。
- 28 その他特命事項に関すること。
- 29 その他、他の主管に属さない警防事務に関すること。

## 予 防 課

- 1 火災予防対策の企画及び総合調整に関すること。

- 2 防火思想の普及向上に関する事。
- 3 予防査察に関する事。
- 4 建築物の許可、認可又は確認同意に関する事。
- 5 火災気象通報の伝達及び火災警報の発令等に関する事。
- 6 火災原因、損害の調査並びに火災報告に関する事。
- 7 予防統計及び予防情報に関する事。
- 8 予防広報及び広聴に関する事。
- 9 危険物の規制及び保安に関する事。
- 10 液化石油ガス販売施設の意見書に関する事。
- 11 火災予防条例に関する事。
- 12 防火管理に関する事。
- 13 消防用設備等の指導及び検査に関する事。
- 14 り災証明に関する事。
- 15 報道関係機関との連絡に関する事。
- 16 自主防災組織の育成、指導に関する事。
- 17 危険物安全協会に関する事。
- 18 消防設備士協会に関する事。
- 19 予防用資器材の整備及び管理に関する事。
- 20 その他特命事項に関する事。
- 21 その他、他の主管に属さない予防事務に関する事。

## 中央消防署事務分掌

### 庶務係

- 1 公印の管理に関する事。
- 2 文書の収受、発送及び保存に関する事。
- 3 職員の服務に関する事。
- 4 職員の給与の支給に関する事。
- 5 職員の健康管理及び福利厚生に関する事。
- 6 職員の被服等の給貸与に関する事。
- 7 庁舎の維持管理に関する事。
- 8 庁舎内設備の点検、整備及び使用に関する事。
- 9 分署に関する事。
- 10 その他、他の主管に属さない事項に関する事。

### 警防第1係、警防第2係、警防第3係

- 1 火災等災害の警戒及び鎮圧に関する事。
- 2 警防、救急隊の編成及び運用に関する事。
- 3 救助隊の編成及び運用に関する事。
- 4 消防計画の運用に関する事。
- 5 車両の点検、整備及び管理に関する事。
- 6 消防、救助、救急用機械器具及び設備の点検、整備及び運用に関する事。
- 7 職員の教養訓練に関する事。
- 8 装備及び資材に関する事。
- 9 消防の地理及び水利の調査並びに水利の確保に関する事。
- 10 災害現場における警戒区域の設定に関する事。
- 11 警防調査に関する事。
- 12 消防団との連絡及び協同行動に関する事。
- 13 自衛消防隊の指導に関する事。
- 14 相互応援の実施に関する事。
- 15 その他、他の主管に属さない警防、救急及び救助に関する事。

## 救急第 1 係、救急第 2 係、救急第 3 係

- 1 救急隊の編成及び運用に関すること。
- 2 救急用機械器具及び設備の点検、整備及び運用に関すること。
- 3 その他、他の主管に属さない救急に関すること。

## 予防第 1 係、予防第 2 係、予防第 3 係

- 1 火災等災害予防の企画及び指導に関すること。
- 2 火災等災害の原因調査及び損害調査に関すること。
- 3 消防対象物等の防火査察、指導及び取締りに関すること。
- 4 危険物規制の調査、指導及び取締りに関すること。
- 5 防火管理の指導に関すること。
- 6 建築許可等の同意事務の調査に関すること。
- 7 火災等災害気象の通報及び警報の伝達に関すること。
- 8 屋外における火災予防に関すること。
- 9 火の使用の制限に関すること。
- 10 火災予防思想の普及宣伝に関すること。
- 11 火災等災害報告に関すること。
- 12 火災予防条例関係の届出に関すること。
- 13 防火協力団体の指導に関すること。
- 14 その他、他の主管に属さない火災等災害予防に関すること。

## 分署事務分掌

### 庶務係

- 1 文書の収受、発送及び保存に関すること。
- 2 職員の服務に関すること。
- 3 職員の健康管理に関すること。
- 4 庁舎の維持管理に関すること。
- 5 庁舎内設備の点検、整備及び使用に関すること。
- 6 その他、他の主管に属さない庶務に関すること。

## 警防救急係

- 1 火災等災害の警戒及び鎮圧に関する事。
- 2 警防、救急及び救助活動並びに訓練に関する事。
- 3 警防隊及び救急隊の編成、運用に関する事。
- 4 車両の点検、整備及び管理に関する事。
- 5 消防、救急用機械器具及び設備の点検、整備に関する事。
- 6 装備及び資材に関する事。
- 7 消防の地理及び水利の調査並びに水利の確保に関する事。
- 8 警防調査に関する事。
- 9 消防団との連絡及び協同行動に関する事。
- 10 自衛消防隊の指導に関する事。
- 11 その他、他の主管に属さない警防、救急に関する事。

## 予 防 係

- 1 消防対象物等の防火査察、指導及び取締りに関する事。
- 2 火災等災害の原因調査及び損害調査に関する事。
- 3 火災等災害気象の通報及び警報の伝達に関する事。
- 4 屋外における火災予防に関する事。
- 5 火の使用の制限に関する事。
- 6 火災予防思想の普及宣伝に関する事。
- 7 火災等災害報告に関する事。
- 8 火災予防条例関係の届出に関する事。
- 9 防火協力団体の指導に関する事。
- 10 その他、他の主管に属さない火災等災害予防に関する事。

## 消 防 機 関 所 在 地

名称	所在地	電話番号	郵便番号
伊達地方消防組合 消 防 本 部	伊達市保原町大泉字大地内 93-1	TEL 024-575-4101 FAX 024-575-4103	960-0634
中 央 消 防 署	"	TEL 024-575-4101 FAX 024-575-4124	"
中央消防署東分署	伊達市霊山町下小国字畑尻 45-3	TEL 024-586-1254 FAX 024-586-3430	960-0808
中央消防署西分署	桑折町大字上郡字楽 5	TEL 024-582-3190 FAX 024-582-4904	969-1661
中央消防署南分署	川俣町字五百田 31	TEL 024-566-2145 FAX 024-566-4406	960-1428
中央消防署北分署	伊達市梁川町希望ヶ丘 97-1	TEL 024-577-1244 FAX 024-577-4469	960-0729



←消防本部・中央消防署

東分署→





←西分署



南分署→



←北分署

# 消防訓練塔



## 消防庁舎の現状

区分 名称	敷地面積 m <sup>2</sup>	構造	建築延面積 m <sup>2</sup>	建築年月日
消防本部	5,864	鉄筋コンクリート造 3 階建	1,081.96	昭和 47.3
中央消防署		鉄筋コンクリート造 5 階建	245.0	昭和 56.2
高所訓練塔		鉄筋コンクリート 2 階建	495.5	昭和 56.2
耐熱耐煙訓練塔兼補助塔		鉄骨ブロック造平屋建	60.0	昭和 61.7
車庫兼資材庫				
東分署	1,988	鉄筋コンクリート造 2 階建	377.71	昭和 47.3
西分署	2,005	鉄筋コンクリート造 2 階建	570.92	昭和 48.3
南分署	1,441	鉄骨ブロック造 2 階建	465.23	昭和 44.10
北分署	2,113	鉄筋コンクリート造 一部部鉄骨造 2 階建	560.57	平成 15.2

## 平成26年度一般会計予算

歳 入

(単位:千円)

款	本 年 度	左 の	前 年 度	左 の	比 較	
	予 算 額	構 成 率	予 算 額	構 成 率	A - B	(A - B) %
	A	%	B	%		
1 分担金及び負担金	1,430,400	52.1	1,444,300	83.3	△ 13,900	△ 1.0
2 使用料及び手数料	723	0.0	723	0.1	0	0.0
3 県 支 出 金	44,590	1.6	14,500	0.8	30,090	207.5
4 財 産 収 入	139	0.0	101	0.0	38	37.6
5 寄 附 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
6 繰 入 金	19,000	0.7	19,800	1.1	△ 800	△ 4.0
7 繰 越 金	3,000	0.1	3,000	0.2	0	0.0
8 諸 収 入	9,747	0.4	16,875	1.0	△ 7,128	△ 42.2
9 組 合 債	1,237,400	45.1	234,700	13.5	1,002,700	427.2
歳 入 合 計	2,745,000	100.0	1,734,000	100.0	1,011,000	58.3

歳 出

(単位:千円)

款	本 年 度	左 の	前 年 度	左 の	比 較	
	予 算 額	構 成 率	予 算 額	構 成 率	A - B	(A - B) %
	A	%	B	%		
1 議 会 費	1,257	0.0	1,253	0.1	4	0.3
2 総 務 費	36,971	1.3	45,719	2.6	△ 8,748	△ 19.1
3 消 防 費	2,648,105	96.5	1,647,516	95.0	1,000,589	60.7
4 公 債 費	54,451	2.0	35,534	2.1	18,917	53.2
5 予 備 費	4,216	0.2	3,978	0.2	238	6.0
歳 出 合 計	2,745,000	100.0	1,734,000	100.0	1,011,000	58.3

# 職員配置状況調

(平成26年4月1日現在)

区分	階級 人員	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員	毎日勤務者数
		合計	154	1	5	40	23	20	21	44
消防本部	消防長	1	1							1
	参事	1	1							1
	総務課長	1	1							1
	総務課主幹	2		2						2
	総務係	4		1	1	1	1			4
	管理係	(1)		(1)						
	財政係	(1)1		(1)	1					1
	警防課長	(1)	(1)							
	警防課主幹	1		1						1
	警防係	2		1	1					1
	救急係	2		1	1					1
	予防課長	1	1							1
	予防係	3		1	1		1			2
	危険物係	(1)1	(1)		1					1
	消防本部付	1					1			1
計	21	1	3	7	6	2	2		18	
中央消防署	署長	1	1							1
	次長	1	1							1
	主幹(当直司令)	3		3						
	庶務係	3(5)		1		2	(4)	(1)		
	警防係	10(2)		3	2(2)		1	4		
	救急係	8		3	3	1	1			
	予防係	6(3)		3	(1)	(2)	3			
	東分署	22		4	3	2	3	10		1
	西分署	25		5	3	4	5	8		1
	南分署	25		6	3	5	3	8		1
	北分署	22		5	3	4	3	7		1
中央消防署付	7						7		7	
計	133		2	33	17	18	19	44	13	

(注):( )は兼務を示す。

## 職 員 階 級 別 勤 続 年 数 調

(平成26年4月1日現在)

年数	階級	計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
1年未満		10							10	
1年以上	2年未満	11							11	
2年以上	3年未満	11							11	
3年以上	4年未満	7							7	
4年以上	5年未満	10						5	5	
5年以上	6年未満	9						9		
6年以上	7年未満	8					1	7		
7年以上	8年未満	7					7			
8年以上	9年未満	3					3			
9年以上	10年未満	4					4			
10年以上	11年未満	3				2	1			
11年以上	12年未満	3				1	2			
12年以上	13年未満	5				3	2			
13年以上	14年未満									
14年以上	15年未満	4				4				
15年以上	16年未満									
16年以上	17年未満	3				3				
17年以上	18年未満									
18年以上	19年未満	3				3				
19年以上	20年未満									
20年以上	21年未満									
21年以上	22年未満									
22年以上	23年未満	3				3				
23年以上	24年未満									
24年以上	25年未満									
25年以上	26年未満									
26年以上	27年未満	2				2				
27年以上	28年未満									
28年以上	29年未満									
29年以上	30年未満	4			4					
30年以上		44	1	5	36	2				
合	計	154	1	5	40	23	20	21	44	
平	均	15.68	41.00	37.60	35.50	17.90	8.55	5.09	1.68	

## 職 員 階 級 別 年 齢 調

(平成26年4月1日現在)

階級 年 齢	計	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他 の職員
20 歳 以 下	15							15	
21 歳 ～ 25 歳	38						11	27	
26 歳 ～ 30 歳	31					19	10	2	
31 歳 ～ 35 歳	12				11	1			
36 歳 ～ 40 歳	8				8				
41 歳 ～ 45 歳	2				2				
46 歳 ～ 50 歳	12			12					
51 歳 ～ 55 歳	17		1	14	2				
56 歳 以 上	19	1	4	14					
合 計	154	1	5	40	23	20	21	44	
平 均 年 齢	35.10	59.00	57.60	53.70	37.73	28.35	25.57	21.22	

## 職 員 市 町 村 別 居 住 地 調

(平成26年4月1日現在)

階級 年 齢	計	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他 の職員
伊 達 市	82	1	4	18	12	11	14	22	
桑 折 町	17		1	4	4	2	4	2	
国 見 町	9			5		1	1	2	
川 俣 町	21			10	3	4	1	3	
福 島 市	24			3	4	1	1	15	
玉 川 村						1			
合 計	154	1	5	40	23	20	21	44	

# 職 員 研 修 状 況 調

(平成25年度)

区 分		人 員	階 級 別					内 訳	
			消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
福 島 県 消 防 学 校	初 任 教 育	11							11
	救 急 科	11							11
	中 級 幹 部 科	2				2			
	は し ご 車 運 用 科	3				2			1
	指 揮 隊 長 科	3			3				
	救 急 救 命 士 養 成 補 助 教 育 科	2				1	1		
	放 射 線 基 礎 研 修	12				10	1		1
消 防 大 学 校	幹 部 科	1			1				
	警 防 科	1				1			
救 急 救 命 士 養 成 研 修		2				1	1		
薬 剤 投 与 追 加 講 習		3					3		
計		51			4	17	6		24

## 職員特殊技能その他資格取得者調

平成26年4月1日現在

種別		階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士	消防副長	消防士長	消防士	その他の職員	計	
警防・救急関連	自動車運転免許等	大型	1	4	24	22	20	19	13			103	
		中型										0	
		中型(8t中型限定)		1	16	1		1				19	
		普通						1	31			32	
		小型船舶操縦士		2	11	13	3					29	
		潜水士				7	1		1			9	
		日本赤十字社水上安全法救助員			5	1		1	1			8	
		高所作業車技能				1	1					2	
		小型移動式クレーン技能講習		2	9	11	7	2	2			33	
		玉掛け技能講習		2	9	11	5	2	3			32	
		巻上げ機械運転特別教育		2	7	6	1					16	
		酸素欠乏等危険作業主任者技能講習				6	1					7	
		ガス溶接技能講習		2	7	7	5		5			26	
		救急	救急救命士		1	19	9	7	1				37
			気管挿管			19	9	7	1				36
			薬剤投与			5	7	7	1				20
			II 課程	1	4	38	4						47
			I 課程			1							1
			救急科 <small>(旧標準課程含む)</small>				19	17	21	23			80
	ACLS			1	18	1						20	
	JPTEC				13	10	9	10	19			61	
	BLS			2	7	7	11	18			45		
	特殊無線技士		1	8	17	13	2	31			72		
予防関連	予防技術検定	防火査察				9	16	10	1			36	
		危険物				3	2					5	
		消防用設備等				2						2	
	危険物取扱者	甲種		1								1	
		乙種	1	4	11	14	18	15	21			84	
	消防設備士	甲種										0	
		乙種		2	1	3			1			7	
	防火対象物点検資格者		1	1							2		
	電気工事士		1				1	3			5		
その他	火薬類取扱保安責任者										0		
	衛生管理者		1	1	1						3		
	特定化学物質等作業主任者		2	5	3						10		

# 火 災 統 計

平成26年度全国統一防火標語

**『もういいかい 火を消すまでは まあただよ』**

# 平成25年火災概要

## 1 火災件数

総出火件数は69件で、前年の41件に比べ、28件(68.3%)増加した。

火災種別ごとの内訳(割合)で見ると、建物火災が23件(33.3%)、林野火災が3件(4.4%)、車両火災が4件(5.8%)及びその他の火災が39件(56.5%)となっており、その他の火災の占める割合が非常に高い。中でも田畑や空地の下草等を焼損する火災が37件とほとんどを占めている。要因としては、耕作準備のためのたき火が多く行われる3月から6月にかけて、例年に比べ降水量が少ない乾燥した天候が続いたこと。また、東日本大震災後、原野化した耕作放棄地が増加していることが挙げられる。

市町別に火災の発生状況を見ると、伊達市が51件(前年比23件増)、次いで川俣町7件(前年比2件減)、国見町7件(同5件増)、桑折町2件(同1件増)及び福島市飯野町1件(前年同)、東北自動車道1件(同1件増)となった。

## 2 焼損棟数及び焼損面積

焼損棟数は28棟で、前年に比べ25棟減少している。

焼損程度別にみると、全焼が6棟(焼損棟数比21.4%)、半焼が2棟(同7.2%)、部分焼が7棟(同25%)、ぼやが13棟(同46.4%)で、建物火災1件あたりの焼損棟数は1.1棟(前年比0.6棟減)であった。

林野火災における焼損面積については、161aと前年に比べ124a増加した。

## 3 死者及び傷者

火災による死者は3名で前年同、傷者は13名で前年比6名増となった。

死者2名(放火自殺者1名を除く)については、深夜に発生した住宅火災によるもので、住宅用火災警報器(以下「住警器」という。)は設置されていなかった。

住宅火災の逃げ遅れによる死者を無くすために、住警器未設置世帯への設置指導と、設置済み世帯への維持管理指導を継続していく必要がある。

## 4 損害額

損害額は、3,370万8千円で、前年に比べると1億2千万3千円減少した。

1日平均で見ると、9万2千円で、前年と比べると32万9千円減少した。要因としては、前年に比べ焼損棟数が25棟減少していること、そのうち全焼火災が15件減っており、ほとんどが、ぼや、部分焼で被害の拡大を防止できたことが挙げられる。

## 5 出火原因

出火原因別(その他及び不明を除く)で見ると、たき火24件が最も多く、次いで火入れ8件、こんろ7件、たばこ4件、火遊び2件、ボイラー、電気機器、電気装置、取灰及び放火の疑いがそれぞれ1件と続いており、多くが人的要因により発生している。特に、たき火や火入れが付近の枯草や建物等に延焼拡大する火災が多く発生しており、燃えやすい物の近くでのたき火をしないこと、消火の準備をして、完全に消火するまでその場から離れないことなど、基本的な火災予防措置の重要性を啓発していく必要がある。

## 平成25年火災総括表

区分	市町名	伊達市					桑折町	国見町	川俣町	飯野町	福島市	東北海道	合計	前年同期		
		伊達市	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町									旧月館町	
出火件数	計	51	8	15	11	12	5	2	7	7	1	1	69	41		
	建物	14	9	4	2	4	2	2	2	2	5	4	23	17	32	20
	林野	3		1	1		1						3	2		
	車両	2		1		1				1		1	4	1		
	その他	32	4	9	8	9	2		5	1	1		39	6		
焼損棟数	計	17	4	5	2	3	3	2	3	6			28	53		
	全焼	4		2		1	1		1	1			6	21		
	半焼	1					1			1			2	2		
	部分焼	3		1	1	1		1	2	1			7	21		
	ぼや	9	4	2	1	1	1	1		3			13	9		
罹災世帯	計	6	2	1	2		1	2	2	5			15	18		
	全損	1		1					1				2	4		
	半損							1		2			3	1		
	小損	5	2		2		1	1	1	3			10	13		
罹災人員		15	8	2	4		1	3	5	16			39	48		
死傷者	死者	3		2	1								3	3		
	傷者	9	2	2	1	3	1		3	1			13	7		
焼損面積	建物床(㎡)	435	1	252		121	61	4	159	161			759	2,845		
	建物表(㎡)	51	1		2	48			28	1			80	182		
	林野(a)	161		2	25		134						161	37		
損害額(千円)	計	13,692	6,609	4,587	969	833	694	412	2,085	17,249		270	33,708	153,711		
	建物	13,095	6,609	4,165	966	661	694	412	2,085	17,116			32,708	152,759		
	林野															
	車両	589		417		172				133		270	992	932		
	その他	8		5	3								8	20		

※ 建物火災のうち右下の数値は住宅火災の件数

## 火災概況及び比較表

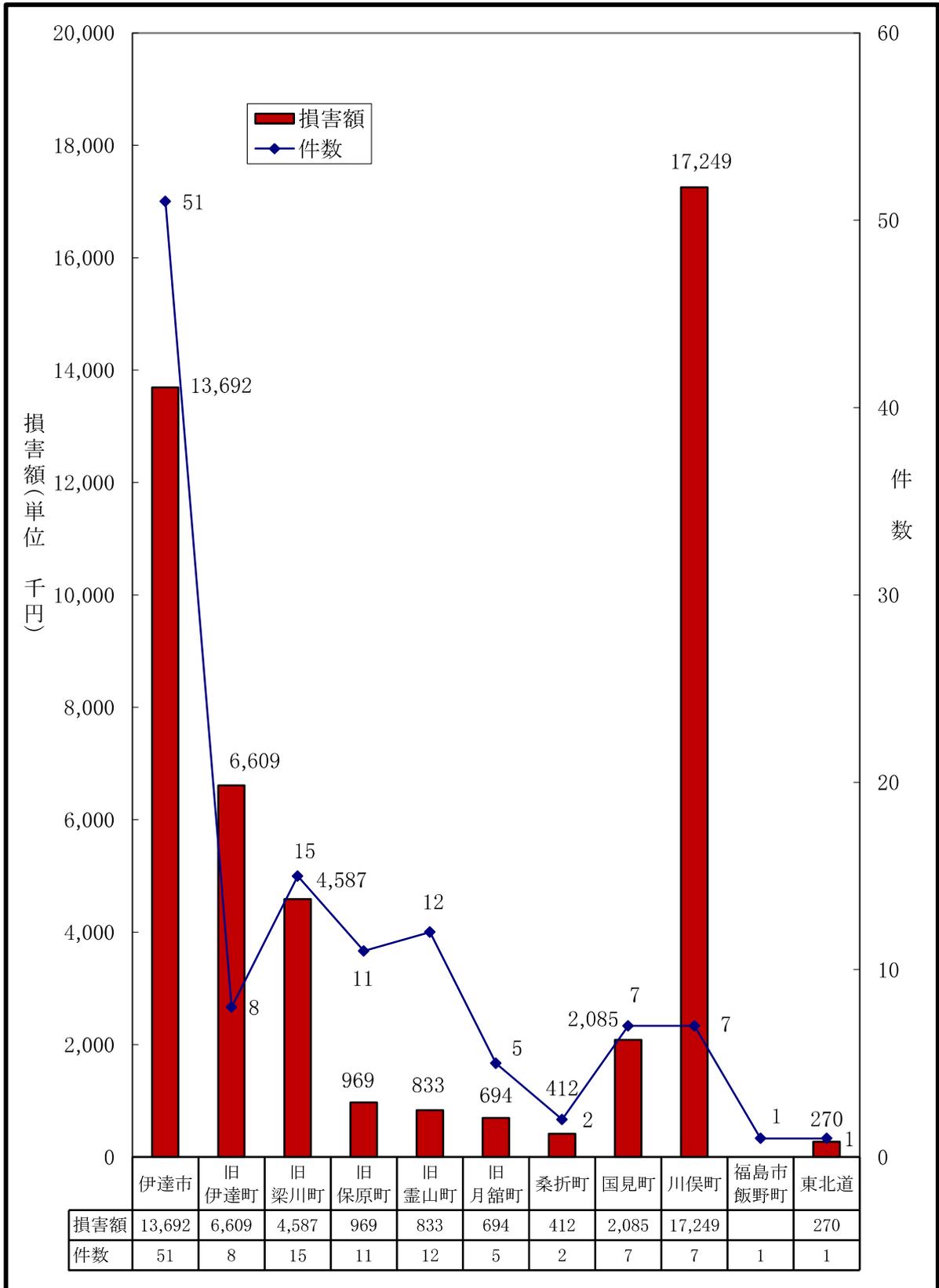
区分		年別	平成25年 (A)	平成24年 (B)	対前年増減数 (A) - (B) = (C)	増減率(C) ÷ (B) × 100%
火災発生件数	合計		69	41	28	68.3
	建物火災		23	32	△ 9	△ 28.1
	林野火災		3	2	1	50.0
	車両火災		4	1	3	300.0
	その他火災		39	6	33	550.0
焼損棟数	合計		28	53	△ 25	△ 47.2
	全焼		6	21	△ 15	△ 71.4
	半焼		2	2	0	0.0
	部分焼		7	21	△ 14	△ 66.7
	ぼや		13	9	4	44.4
焼損面積	建物(床) m <sup>2</sup>		759	2,845	△ 2,086	△ 73.3
	建物(表) m <sup>2</sup>		80	182	△ 102	△ 56.0
	林野 a		161	37	124	335.1
罹災	世帯数	合計	15	18	△ 3	△ 16.7
		全損	2	4	△ 2	△ 50.0
		半損	3	1	2	200.0
		小損	10	13	△ 3	△ 23.1
	人員	39	48	△ 9	△ 18.8	
損害額(千円)	合計		33,708	153,711	△ 120,003	△ 78.1
	建物		32,708	152,759	△ 120,051	△ 78.6
	林野				0	-
	車両		992	932	60	6.4
	その他		8	20	△ 12	△ 60.0
死傷者	死者		3	3	0	0.0
	負傷者		13	7	6	85.7
1日平均損害額(千円)			92	266	△ 174	△ 65.3
建物火災のみ1件平均損害額			1,422	4,774	△ 3,352	△ 70.2
建物火災のみ1日平均損害額			90	419	△ 329	△ 78.6

## 市町別・月別火災発生状況

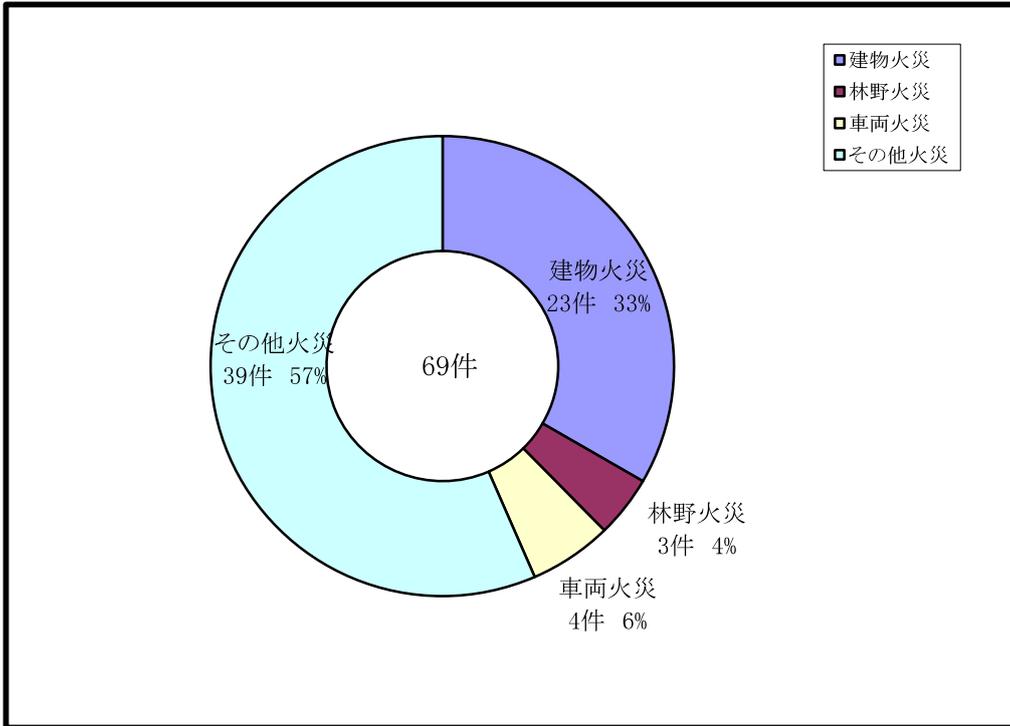
市町別 月別	伊達市						桑折町	国見町	川俣町	飯野町	福島市	東北道	合計	前年計
	伊達市	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月館町								
1	1	1											1	3
2									1				1	2
3	25 (2)	5	9 (2)	2	8	1		2	3				30 (2)	5 (1)
4	8		2	4	1	1			2				10	9
5	6	1	2	1	1	1	1	2	1				10	1
6	3			1	1	1		1		1			5	3
7	2 (1)		1	1 (1)									2 (1)	2
8														2
9	2			1	1		1				1		4	6
10	1		1					1					2	1 (1)
11	1			1									1	5 (1)
12	2	1				1		1					3	2
合計	51 (3)	8	15 2	11 (1)	12	5	2	7	7	1	1		69 (3)	
前年計	28 (1)	4	7 (1)	10	4	3	1	2 (1)	9 (1)	1				41 (3)
増減数	23	4	8	1	8	2	1	5	△ 2		1			28

※ ( )内は火災による死者数

## 火災件数と損害額

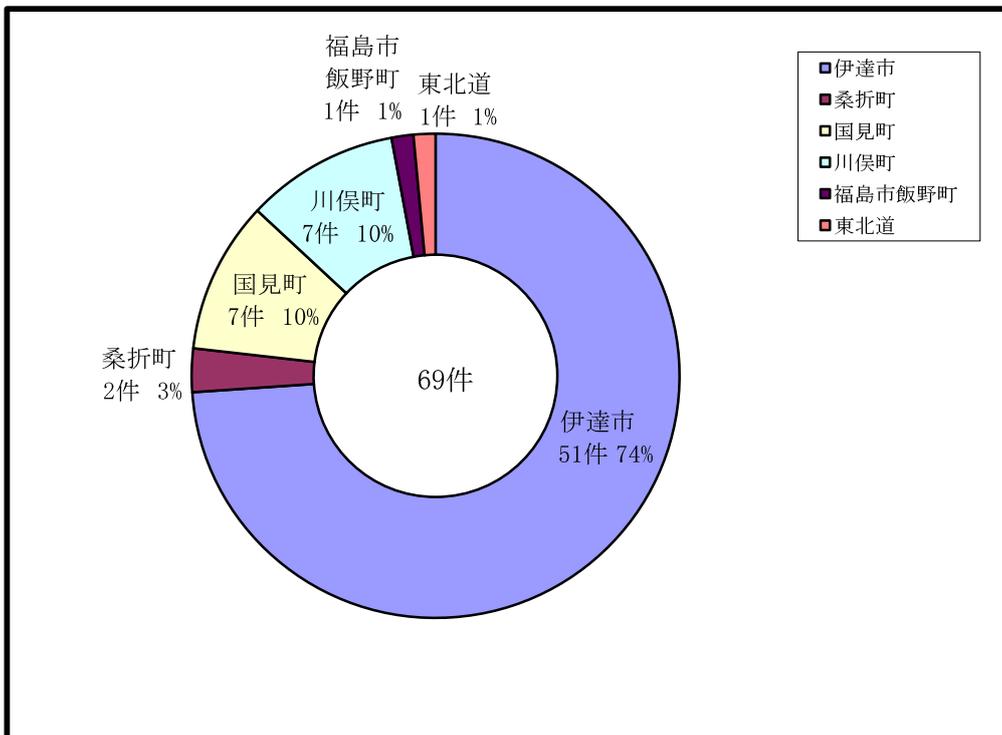


## 火災種別発生率



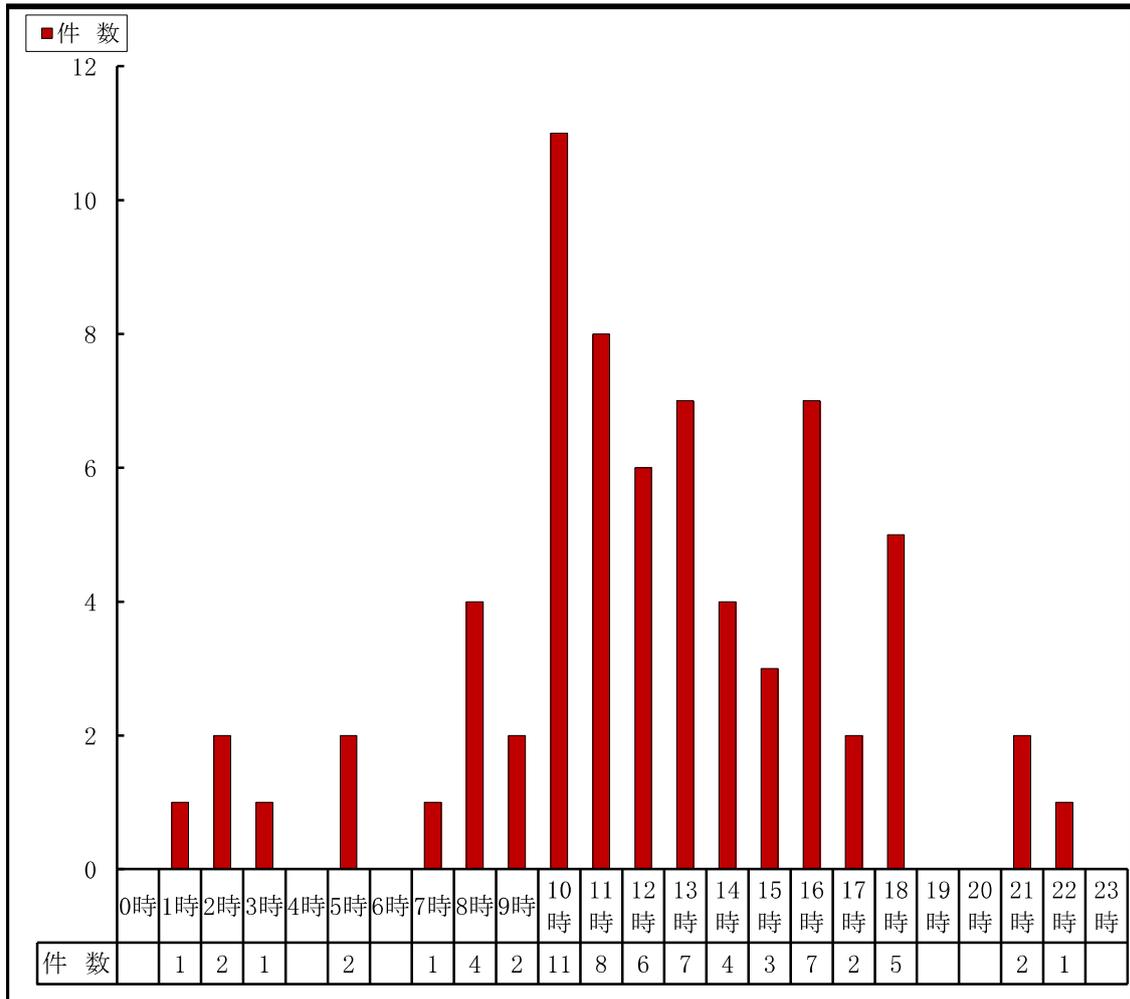
(注) 構成比率は表示単位未満四捨五入

## 市町別火災発生率



(注) 構成比率は表示単位未満四捨五入

## 時間別火災発生状況



## 覚知方法別出火件数

覚知別	出火件数(件)	構成比(%)
火災報知専用電話(119)	30	43%
火災報知専用電話(携帯)	26	38%
加入電話	7	10%
事後聞知	3	4%
その他	3	4%
合計	69	100%

(注) 構成比は、表示単位未満四捨五入。

## 出火率の推移

市町別	年別	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
伊達市				4.1	6.2	3.7	4.1	3.4	2.6	4.3	7.8
旧伊達町	3.6	3.7									
旧梁川町	7.1	3.8									
旧保原町	5.6	4.8									
旧霊山町	3	7.3									
旧月舘町	17.3	4.4									
桑折町	2.9	2.9	4.4	2.2	5.3	3.7	3	3.9	0.8	1.6	
国見町	7.2	3.6	3.7	5.6	1.9	7.6	1.9	1	2.0	7.0	
川俣町	8.9	6.2	4.6	6.1	3.1	4.6	3.1	6	6.1	4.8	
福島市飯野町	14.8	4.4	4.5	3.1	3.2	6.5	6.5	5.2	1.7	1.7	
伊達管内	6.8	4.6	4.2	5.4	3.7	4.5	3.4	3.2	3.8	6.4	
福島県	5.7	4.3	4.6	4.5	4	4.3	3.5	3.4	3.4	3.7	
全 国	4.8	4.5	4.2	4.3	4.1	4	3.6	3.2	3.2	4.2	

- (注) 1 桑折町、国見町は東北自動車道における火災を除く。  
 2 出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう。  
 3 人口は、各市町4月1日現在の推計人口。

## 火災による死傷者の推移

(単位：人)

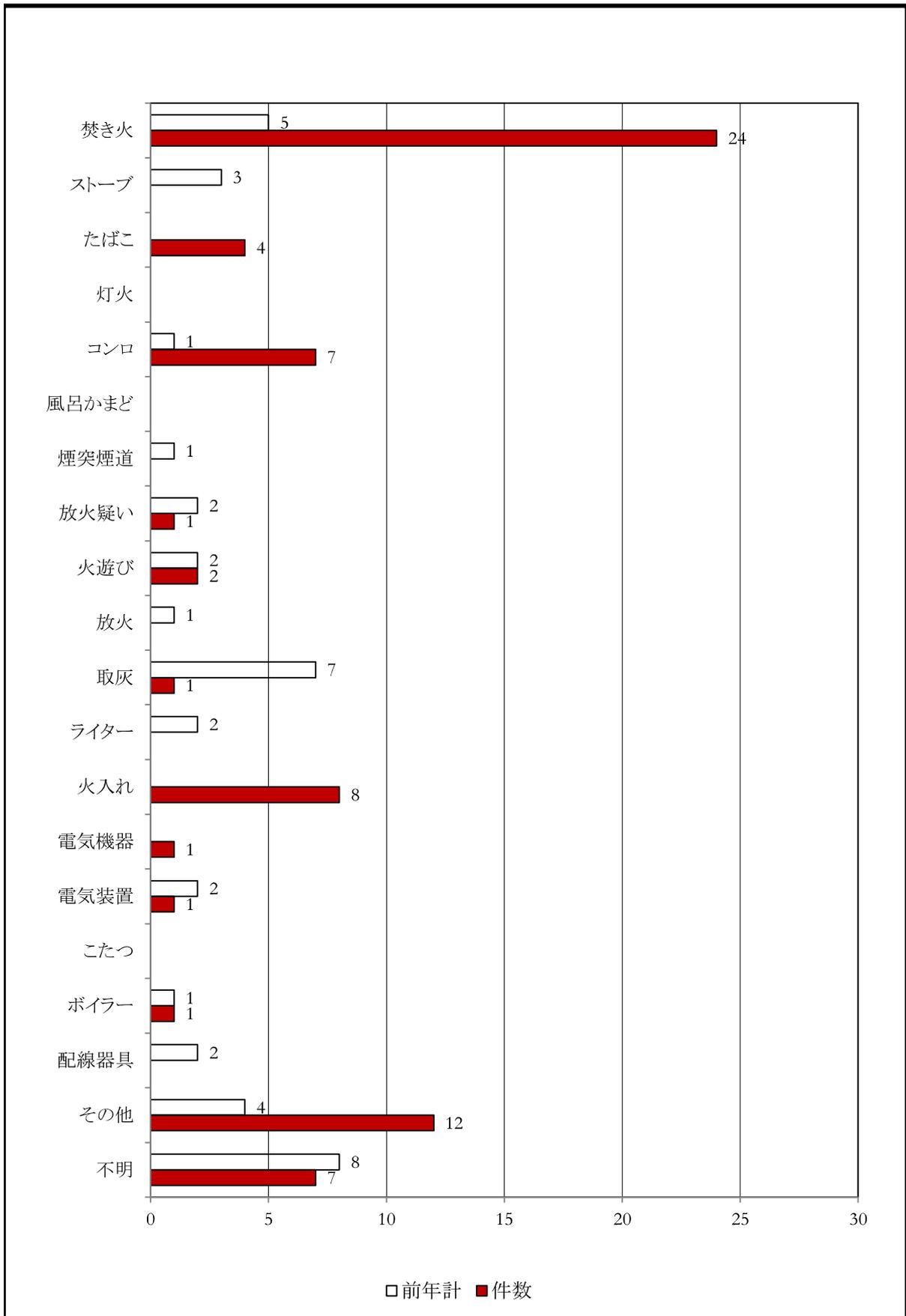
区分	年別	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
死 者		2	1	3	1	2	5	1	3	3	3
放火自殺				3					2	1	1
負傷者		19	6	4	6	5	6	9	5	7	13

## 過去5年間に於ける各市町火災発生状況

(損害額 単位:千円)

市町別 区分		年別					
		平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	合計
伊達市	出火件数	28	23	17	28	51	147
	損害額	43,718	68,857	46,001	139,355	13,692	311,623
旧伊達町	出火件数	7	9	1	4	8	29
	損害額	9,902	15,680	5	3,097	6,609	35,293
旧梁川町	出火件数	3	5	9	7	15	39
	損害額	1,990	19,277	42,300	14,836	4,587	82,990
旧保原町	出火件数	6	3	3	10	11	33
	損害額	3,440	8,011	1,839	116,041	969	130,300
旧霊山町	出火件数	8	3	1	4	12	28
	損害額	25,390	9,835	1,857	567	833	38,482
旧月舘町	出火件数	4	3	3	3	5	18
	損害額	2,996	16,054		4,814	694	24,558
桑折町	出火件数	5	4	5	1	2	17
	損害額	11,806	44,813	596	5	412	57,632
国見町	出火件数	8	2	1	2	7	20
	損害額	91,449	105	9	8,897	2,085	102,545
川俣町	出火件数	7	5	9	9	7	37
	損害額	23,702	13,588	46,262	5,431	17,249	106,232
福島市 飯野町	出火件数	4	4	3	1	1	13
	損害額	31,632	16,154	4,403	23		52,212
東北道	出火件数		1	1		1	3
	損害額		200			270	470
合計	出火件数	52	39	36	41	69	237
	損害額	202,307	143,717	97,271	153,711	33,708	630,714

## 原因別火災発生状況



### 気象別出火件数調(湿度)

月別	湿度	40%以下	40%を越え 50%以下	50%を越え 60%以下	60%を越え 70%以下	70%を越え 80%以下	80%を越え 90%以下	90%越え	計
	1 月						1		
2 月					1				1
3 月	15	5	4	3	1	2			30
4 月	5	1		2	2				10
5 月	2	3	3		1	1			10
6 月			2		2	1			5
7 月								2	2
8 月									
9 月		1	1	1			1		4
10 月				1				1	2
11 月								1	1
12 月		1		1			1		3
計	22	11	10	9	7	6	4		69

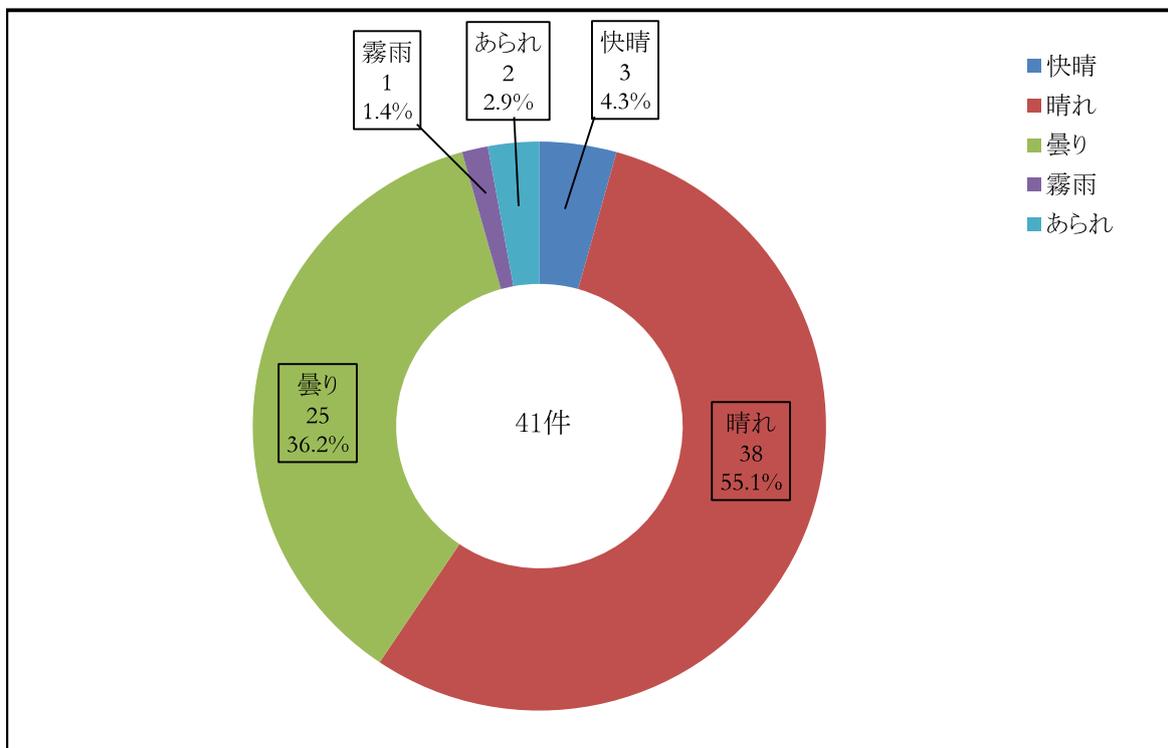
### 気象別出火件数調(風速)

月別	風速	1 m 以下	2 m	3 m	4 m	5 m	6 m	7 m	8 m	9 m	10 m	11 m	12 m 以上	計
	1 月						1							
2 月						1								1
3 月	7	2	2	6	2	2	5	1	1			1	1	30
4 月	2	4	1	1	1	1								10
5 月	2	1		1	2	1	1	1	1					10
6 月	1		1	3										5
7 月				1	1									2
8 月														
9 月	3	1												4
10 月	1			1										2
11 月	1													1
12 月	2			1										3
計	19	8	4	14	7	5	6	2	2			1	1	69

## 曜日別出火件数調

曜日 月別	日	月	火	水	木	金	土	計
1 月						1		1
2 月							1	1
3 月	6	2	5	3	3	5	6	30
4 月		3	2	1	3	1		10
5 月	3		1	2	2	1	1	10
6 月			1		1	2	1	5
7 月			1		1			2
8 月								
9 月				1	3			4
10 月				1	1			2
11 月				1				1
12 月	1				1	1		3
計	10	5	10	9	15	11	9	69

## 気象別出火件数調(天候)



(注) 構成比率は表示単位未満四捨五入。

## 全国及び福島県の火災記録(10年間)

区分 年・国・県別		火災件数	罹災世帯数	焼損面積		損害額 (千円)	死者	傷者
				建物(m <sup>2</sup> )	林野(a)			
平成16年	全国	60,394	29,779	1,573,642	156,735	134,915,488	1,993	8,646
	福島県	1,205	509	52,592	4,488	2,837,053	45	155
平成17年	全国	57,487	29,936	1,555,831	110,223	157,576,400	2,197	8,854
	福島県	915	451	42,892	7,563	3,721,132	57	125
平成18年	全国	53,260	29,125	1,385,310	84,280	116,585,589	2,066	8,538
	福島県	959	472	34,756	1,262	2,279,636	56	146
平成19年	全国	54,579	28,630	1,390,379	71,718	125,440,111	2,001	8,471
	福島県	952	440	42,276	2,016	2,829,509	52	138
平成20年	全国	52,394	26,808	1,316,890	84,325	108,681,199	1,967	7,979
	福島県	838	412	43,976	1,133	2,700,770	43	120
平成21年	全国	51,124	25,336	1,223,353	106,276	93,009,679	1,877	7,615
	福島県	882	394	35,745	1,979	2,003,738	47	134
平成22年	全国	46,620	23,865	1,187,415	75,549	101,762,173	1,738	7,305
	福島県	730	386	34,610	1,650	1,438,357	43	141
平成23年	全国	50,006	26,795	1,395,112	207,093	112,835,173	1,766	7,286
	福島県	851	355	36,209	2,983	4,968,193	41	122
平成24年	全国	44,189	22,422	1,138,178	37,187	89,698,625	1,721	6,826
	福島県	671	356	31,092	1,007	1,824,962	45	124
平成25年	全国	48,028	21,212	1,559,456	96,765	85,996,683	1,616	6,826
	福島県	823	391	33,762	3,378	1,788,671	32	136

# 危険物統計

平成26年度危険物安全週間推進標語

**『危険物 読みはまっすぐ ゼロ災害』**

# 市町別危険物製造所等

(平成26年3月31日現在)

製造所等 市町名	合 計	貯 蔵 所							取 扱 所		
		小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	屋 内 タンク 貯蔵所	地 下 タンク 貯蔵所	移 動 タンク 貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所
伊 達 市	278	170	26	27	4	70	41	2	108	53	55
	272	167	26	26	4	69	41	1	105	51	54
旧伊達町	74	51	7	11	3	16	14		23	12	11
	73	50	7	11	3	15	14		23	12	11
旧梁川町	85	53	7	10	1	22	13		32	13	19
	84	52	7	9	1	22	13		32	13	19
旧保原町	100	5	5	4	23	23	6		39	20	19
	74	38	5	4		23	6		36	18	18
旧霊山町	28	19	4	2		3	8	2	9	5	4
	27	18	4	2		3	8	1	9	5	4
旧月舘町	14	9	3			6			5	3	2
	14	9	3			6			5	3	2
桑 折 町	62	40	6	5		22	7		22	8	14
	62	40	6	5		22	7		22	8	14
国 見 町	42	25	3	2	1	11	8		17	9	8
	42	25	3	2	1	11	8		17	9	8
川 俣 町	80	53	12	6	1	17	14	3	27	10	17
	78	51	12	6	1	17	14	1	27	10	17
福島市飯野町	16	3	1			2			13	6	7
	16	3	1			2			13	6	7
合 計	478	291	48	40	6	122	70	5	187	86	101
	470	286	48	39	6	121	70	2	184	84	100

(注) 下段は、完成検査済証交付施設数

## 倍数別危険物製造所等(完成検査済証交付施設)

(平成26年3月31日現在)

製造所等 市町名	合 計	貯 蔵 所							取 扱 所		
		小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所
5 倍 以 下	235	190	28	13	5	75	67	2	45	2	43
5 倍 を こ え 1 0 倍 以 下	93	54	16	10	1	26	1		39	2	37
1 0 倍 を こ え 5 0 倍 以 下	75	34	3	15		15	1		41	22	19
5 0 倍 を こ え 1 0 0 倍 以 下	26	6	1	1		3	1		20	19	1
1 0 0 倍 を こ え	41	2				2			39	39	
合 計	470	286	48	39	6	121	70	2	184	84	100

## 容量別屋外タンク貯蔵所(完成検査済証交付施設)

(平成26年3月31日現在)

容 量 (リットル)	タ ン ク 数	割 合 (%)
10, 000未満	11	28.2%
10, 000以上 20, 000未満	14	35.9%
20, 000以上 30, 000未満	5	12.8%
30, 000以上 40, 000未満	3	7.7%
40, 000以上 50, 000未満	3	7.7%
50, 000以上	3	7.7%
合 計	39	100%

# 予 防 統 計



平成25年度 伊達地方消防組合消防本部 防火ポスターコンクール最優秀作品  
(桑折町立睦合小学校3年 浅野萌仁香さんの作品です。)

## 市町別・工事種別同意処理状況

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

市町別	種別									計
	新築	増築	改築	用途変更	移転	大規模模様替	大規模修繕	その他		
伊達市	64	37								101
桑折町	19	13								32
国見町	10	10								20
川俣町	11	7								18
福島市飯野町	3	3	1							7
計	107	70	1							178

## 市町別・月別同意処理状況

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

市町別	月別													計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
伊達市	8	7	12	7	4	12	15	7	6	10	9	4	101	
桑折町	4	1	5	2	3	1	2	1	6	4	1	2	32	
国見町	5		4	2		4	1	1		1	1	1	20	
川俣町	1	1	5	2			2	1	2	1	2	1	18	
福島市飯野町	1			1	1		2	1	1				7	
計	19	9	26	14	8	17	22	11	15	16	13	8	178	

## 市町別・用途別建築同意処理状況

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

防火対象物		市町別	伊 達 市	桑 折 町	国 見 町	川 俣 町	飯福 野島 町市	計
(1)	イ 劇場、映画館等							
	ロ 公会堂、集会場		4				2	6
(2)	イ キャバレー、ナイトクラブ							
	ロ 遊技場、ダンスホール							
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等							
	ニ カラオケボックス等							
(3)	イ 待合、料理店の類							
	ロ 飲食店							
(4)	百貨店、マーケット、店舗の類		1	1		1		3
(5)	イ 旅館、ホテル、宿泊所							
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅		2	2				4
(6)	イ 病院、診療所、助産所		1					1
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホーム等			2	1			3
	ハ 老人デイサービスセンター等		1	1				2
	ニ 幼稚園、盲ろう学校の類							
(7)	小学校、中学校、高等学校、大学の類		9			4		13
(8)	図書館、博物館の類							
(9)	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類							
	ロ イ、以外の公衆浴場							
(10)	車両の駐車場の類							
(11)	神社、寺院、教会の類			1				1
(12)	イ 工場、作業場		6	1		4	1	12
	ロ テレビスタジオ等							
(13)	イ 自動車車庫、駐車場							
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫							
(14)	倉庫		1		1	1		3
(15)	前各項に該当しない事業場		6	1	3		1	11
(16)	イ (1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)			3	1			4
	ロ 上記以外の(複)							
住 宅			30	9	6	4	2	51
そ の 他			112	24	16	13	1	166
合 計			173	45	28	27	7	280

(注) 1. (複)は、複合用途防火対象物を示す。

2. (1)～(16)までの調査対象は、延べ面積150平方メートル以上。

# 防 火 対 象 物 施 設 数

(平成26年3月31日現在)

防火対象物		市町別					計	
		伊達市	桑折町	国見町	川俣町	飯福野島市		
(1)	イ	劇場、映画館等	1			1		2
	ロ	公会堂、集会場	51	6	6	19	4	86
(2)	イ	キャバレー、ナイトクラブ						
	ロ	遊技場、ダンスホール	4				1	5
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	2					2
(3)	イ	待合、料理店の類	3	3		3	1	10
	ロ	飲食店	17		3	1		21
(4)		百貨店、マーケット、店舗の類	69	12	10	19	5	115
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所	12			5	2	19
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	218	28	15	36		297
(6)	イ	病院、診療所、助産所	37	3	2	6	3	51
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム等	14	6		5	1	26
	ハ	老人デイサービスセンター等	31	5	2	4	3	45
	ニ	幼稚園、盲ろう学校の類	16	6	2	5	3	32
(7)		小学校、中学校、高等学校、大学の類	78	12	4	27	10	131
(8)		図書館、博物館の類	3	1		2		6
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類						
	ロ	イ、以外の公衆浴場						
(10)		車両の駐車場の類	1					1
(11)		神社、寺院、教会の類	40	10	7	5	2	64
(12)	イ	工場、作業場	250	51	34	82	49	466
	ロ	テレビスタジオ等						
(13)	イ	自動車車庫、駐車場	11	1	1			13
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫						
(14)		倉庫	173	36	20	25	15	269
(15)		前各項に該当しない事業場	163	41	60	42	14	320
(16)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)	63	7	11	19	4	104
	ロ	上記以外の(複)	23	2	2	8	5	40
(17)		重要文化財	1	1	1			3
合		計	1,281	231	180	314	122	2,128

(注) 1. (複)は、複合用途防火対象物を示す。

2. 調査対象は、(17)項以外は延べ面積150平方メートル以上。

# 防火対象物の階層別・面積別調

(平成26年3月31日現在)

		階 層 別							面積別(m <sup>2</sup> )										
		一階	二階	三階	四階	五階	六階	七階以上	計	150未満	150~299	300~499	500~699	700~999	1,000~5,999	6,000~9,999	10,000以上	計	
(1)	イ	劇場、映画館等		2					2					2				2	
	ロ	公会堂、集会場	52	27	6	1			86		23	29	12	10	12			86	
(2)	イ	キャバレー、ナイトクラブ																	
	ロ	遊技場、ダンスホール	3	2					5		1	2		1	1			5	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等																	
	ニ	カラオケボックス等	1	1					2			2						2	
(3)	イ	待合、料理店の類	1	9					10		3	4	1	2				10	
	ロ	飲食店	11	8	1	1			21		14	3	3	1				21	
(4)		百貨店、マーケット、店舗の類	82	32	1				115		37	19	14	7	36	2		115	
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所	3	12	3		1		19		3	3	4	5	4			19	
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	7	222	45	9	14		297		136	94	20	12	35			297	
(6)	イ	病院、診療所、助産所	13	29	2	4	2	1	51		15	14	6	4	9	1	2	51	
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム等	8	15	3				26		3	5	2	2	13		1	26	
	ハ	老人デイサービスセンター等	29	15	1				45		15	11	8	7	4			45	
	ニ	幼稚園、盲ろう学校の類	26	6					32		10	12	5	3	2			32	
(7)		小学校、中学校、高等学校、大学の類	51	41	31	8			131		11	12	13	22	65	5	3	131	
(8)		図書館、博物館の類	2	4					6			3	1		2			6	
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類																	
	ロ	イ、以外の公衆浴場																	
(10)		車両の駐車場の類	1						1		1							1	
(11)		神社、寺院、教会の類	30	34					64		15	25	13	8	3			64	
(12)	イ	工場、作業場	250	208	8				466		77	95	67	68	138	8	13	466	
	ロ	テレビスタジオ等																	
(13)	イ	自動車車庫、駐車場	11	2					13		9	3	1					13	
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫																	
(14)		倉庫	199	66	4				269		78	72	36	39	41	3		269	
(15)		前各項に該当しない事業場	115	161	37	3	3	1	320		69	97	60	29	63	1	1	320	
(16)	イ	(1)~(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)	26	54	19	3	1	1	104		20	35	19	10	19	1		104	
	ロ	上記以外の(複)	5	28	6			1	40		5	15	12	5	3			40	
(17)		重要文化財	1	1	1				3	1			2					3	
合 計			927	979	168	29	21	3	1	2128	1	545	555	299	235	452	21	20	2128

(注) 1. (複)は、複合用途防火対象物を示す。

2. 調査対象は、(17)項以外は延べ面積150平方メートル以上。

# 甲種防火対象物防火管理者選任届出状況

(平成26年3月31日現在)

区分 防火対象物		伊達市		桑折町		国見町		川俣町		飯福野島町市		計	
		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
(1)	イ 劇場、映画館等							1	1			1	1
	ロ 公会堂、集会場	42	41	6	5	2	1	7	7	1		58	54
(2)	イ キャバレー、ナイトクラブ												
	ロ 遊技場、ダンスホール	3	3							1	1	4	4
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等												
	ニ カラオケボックス等	2	2									2	2
(3)	イ 待合、料理店の類	1	1	2	2			1	1	1	1	5	5
	ロ 飲食店	6	3									6	3
(4)	百貨店、マーケット、店舗の類	41	36	6	6	6	6	14	14	1	1	68	63
(5)	イ 旅館、ホテル、宿泊所	9	9					3	3	1	1	13	13
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅	12	11	1	1	1	1	6	4			20	17
(6)	イ 病院、診療所、助産所	11	11			1	1	1	1	2	2	15	15
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホーム等	10	9	6	6			5	5	1	1	22	21
	ハ 老人デイサービスセンター等	17	16	3	3	1	1	2	2	2	2	25	24
	ニ 幼稚園、盲ろう学校の類	10	10	3	3	1	1	3	3	2	2	19	19
(7)	小学校、中学校、高等学校、大学の類	28	27	6	6	2	2	7	7	4	4	47	46
(8)	図書館、博物館の類	2	2					1	1			3	3
(9)	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類												
	ロ イ、以外の公衆浴場												
(10)	車両の駐車場の類												
(11)	神社、寺院、教会の類	13	11	2	2	1	1			1		17	14
(12)	イ 工場、作業場	29	28	8	8	5	5	9	8	2	2	53	51
	ロ テレビスタジオ等												
(13)	イ 自動車車庫、駐車場												
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫												
(14)	倉庫	2	2	1	1							3	3
(15)	前各項に該当しない事業場	40	39	6	5	6	6	3	3	3	3	58	56
(16)	イ (1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)	45	35	2	2	10	10	10	8	3	3	70	58
	ロ 上記以外の(複)	4	4	2	2							6	6
(17)	重要文化財												
合 計		327	300	54	52	36	35	73	68	25	23	515	478

(注)1. (複)は、複合用途防火対象物を示す。

2. Aは選任を必要とする対象物数、Bは選任している対象物数。

## 乙種防火対象物防火管理者選任届出状況

(平成26年3月31日現在)

防火対象物		伊達市		桑折町		国見町		川俣町		飯福島町市		計	
		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
(1)	イ	劇場、映画館等											
	ロ	4	4			3	1	11	10	3	3	21	18
(2)	イ	キャバレー、ナイトクラブ											
	ロ	1	1									1	1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等											
	ニ	カラオケボックス等											
(3)	イ	1	1					1	1			2	2
	ロ	12	9	1	1	1	1	1	1			15	12
(4)	百貨店、マーケット、店舗の類												
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所											
	ロ							2	1			2	1
(6)	イ	病院、診療所、助産所											
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム等											
	ハ	1	1			1	1	1	1			3	3
	ニ	幼稚園、盲ろう学校の類											
(7)	小学校、中学校、高等学校、大学の類												
(8)	図書館、博物館の類												
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類											
	ロ	イ、以外の公衆浴場											
(10)	車両の駐車場の類												
(11)	神社、寺院、教会の類												
(12)	イ	工場、作業場											
	ロ	テレビスタジオ等											
(13)	イ	自動車車庫、駐車場											
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫											
(14)	倉庫												
(15)	前各項に該当しない事業場												
(16)	イ	2		1	1			4	4			7	7
	ロ	上記以外の(復)											
(17)	重要文化財												
合 計		27	21	7	7	6	4	24	21	4	3	68	56

(注) 1. (復)は、複合用途防火対象物を示す。

2. Aは選任を必要とする対象物数、Bは選任している対象物数。

# 防火対象物立入検査実施状況

(平成26年3月31日現在)

防火対象物		伊達市		桑折町		国見町		川俣町		飯福 野島市		計	
		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
(1)	イ 劇場、映画館等	1						1	1			2	1
	ロ 公会堂、集会場	51	37	6	3	6	1	19	17	4	4	86	62
(2)	イ キャバレー、ナイトクラブ												
	ロ 遊技場、ダンスホール	4	3							1		5	3
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等												
	ニ カラオケボックス等	2	1									2	1
(3)	イ 待合、料理店の類	3	2	3	2			3	2	1	1	10	7
	ロ 飲食店	17	2			3		1				21	2
(4)	百貨店、マーケット、店舗の類	69	34	12	6	10	4	19	16	5	5	115	65
(5)	イ 旅館、ホテル、宿泊所	12	8					5	2	2	2	19	12
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅	218	34	28	1	15		36				297	35
(6)	イ 病院、診療所、助産所	37	20	3		2	1	6	6	3	3	51	30
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホーム	14	12	6	4			5	5	1	1	26	22
	ハ 老人デイサービスセンター等	31	15	5	6	2	4	4	4	3	3	45	32
	ニ 幼稚園、盲ろう学校の類	16	9	6	3	2	2	5	5	3	3	32	22
(7)	小学校、中学校、高等学校、大学の類	78	51	12	8	4		27	27	10	10	131	96
(8)	図書館、博物館の類	3	3	1				2				6	3
(9)	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類												
	ロ イ、以外の公衆浴場												
(10)	車両の駐車場の類	1										1	
(11)	神社、寺院、教会の類	40	31	10	7	7	2	5	5	2	2	64	47
(12)	イ 工場、作業場	250	148	51	11	34	8	82	54	49	32	466	253
	ロ テレビスタジオ等												
(13)	イ 自動車車庫、駐車場	11	4	1	1	1	1					13	6
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫												
(14)	倉庫	174	81	36	5	20	6	25	4	15	8	270	104
(15)	前各項に該当しない事業場	163	70	41	7	60	40	42	38	14	13	320	168
(16)	イ (1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)	63	34	7	2	11	3	19	17	4	4	104	60
	ロ 上記以外の(複)	23	8	2	1	2		8	6	5	5	40	20
(17)	重要文化財	1		1		1	1					3	1
合 計		1,282	607	231	67	180	73	314	209	122	96	2,129	1,052

(注) 1. Aは防火対象物数、Bは立入検査実施数。

2. 調査対象は、(17)項以外は延べ面積150平方メートル以上。

## 消防用設備等の届出・検査済証件数

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

設備名 区分	計	消 火 器	屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備	粉 末 消 火 設 備	屋 外 消 火 栓 設 備	動 力 消 防 ポ ンプ 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	非 常 警 報 設 備	非 常 警 報 設 備 ( 放 送 設 備 )	避 難 器 具	誘 導 灯 ・ 誘 導 標 識	消 防 用 水	連 結 散 水 設 備	連 結 送 水 管
着工届出	69		3	4			2	1	37		6		10	2	4			
設置届出	222	54	7	4		2	2	2	52		5	15	18	2	59			
検査済証	224	55	7	4		2	2	2	52		5	15	18	2	60			

## 火災予防条例等に基づく届出状況

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

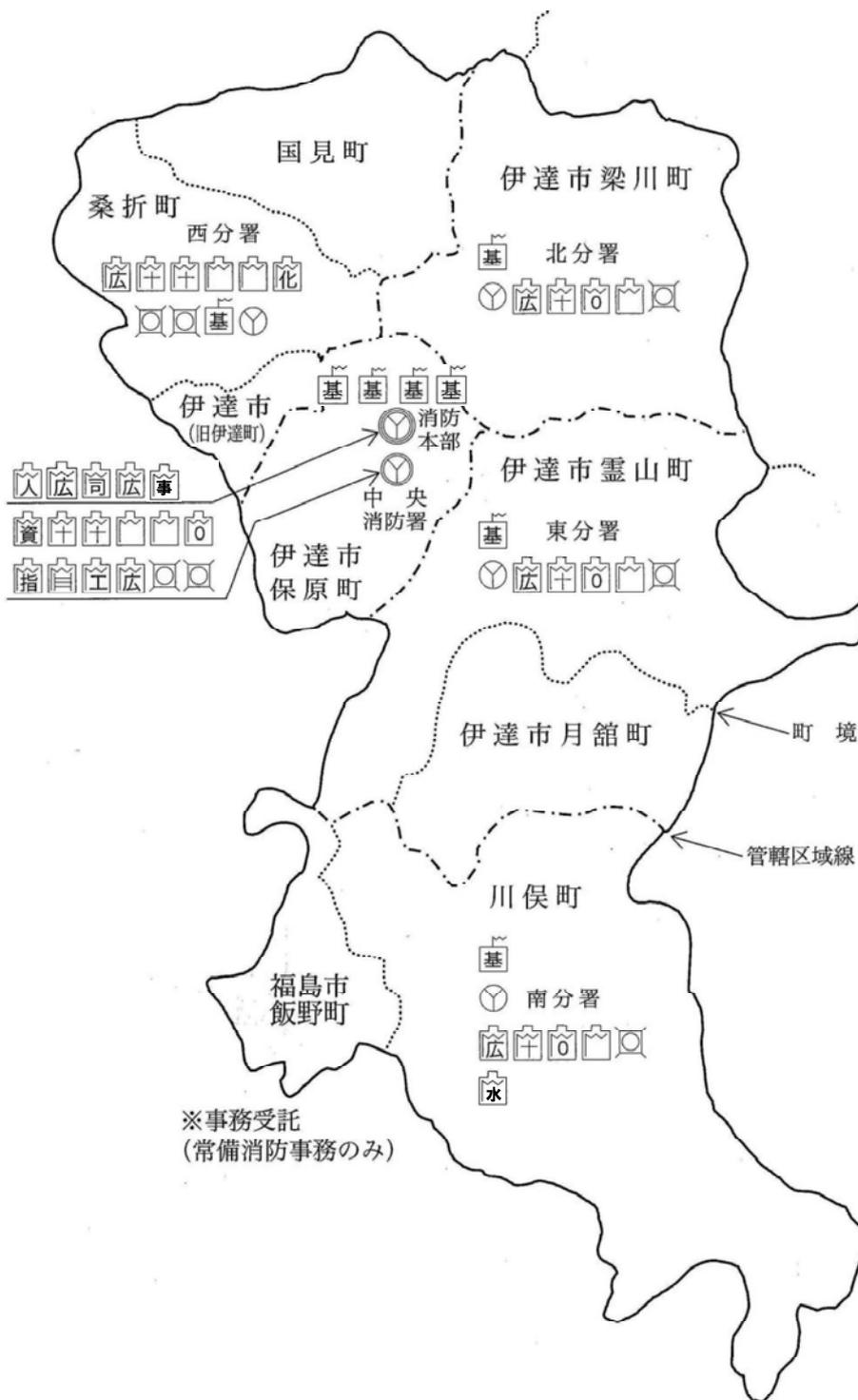
事項	所属	中央	東	西	南	北	計
◎施行規則	消 防 計 画	42	19	39	64	36	200
◎危 政 令	圧 縮 ア セ チ レ ン	2		4			6
	無 水 硫 酸						
	液 化 石 油 ガ ス		1	3	4	1	9
	生 石 灰						
	毒 物						
	劇 物						
○火災予防条例							
	使 用 開 始	12	11	16	20	10	69
	炉				1		1
	厨 房 設 備						
	温 風 暖 房 機						
	ボ イ ラ ー		1	3	2	4	10
	給 湯 設 備			1	1	1	3
	乾 燥 設 備	2					2
	サ ウ ナ						
	ヒ ー ト ポ ン プ 冷 暖 房 機				1		1
	火 花 を 生 ず る 設 備						
	放 電 加 工 機						
	変 電 設 備	7	10	7	6	7	37
	発 電 設 備	2			2	1	5
	蓄 電 池 設 備	5		6	5		16
	燃 料 電 池 発 電 設 備						
	ネ オ ン 管						
	水 素 気 球						
	ま ぎ ら わ し い 煙	128	66	72	33	150	449
	煙 火 打 上 げ	20	36	46	70	22	194
	催 物		1		38		39
	断 減 水	1	3	1	3		8
	道 路 工 事	103	34	106	33	42	318
	指 定 洞 道 等						
	少 量 危 険 物	7	2	13	16	8	46
	指 定 可 燃 物			1			1
	タ ン ク 水 張 検 査						
	計	331	184	318	299	282	1,414

# 警 防



# 伊達地方消防組合消防本部・消防署(分署)及び消防機械配置図

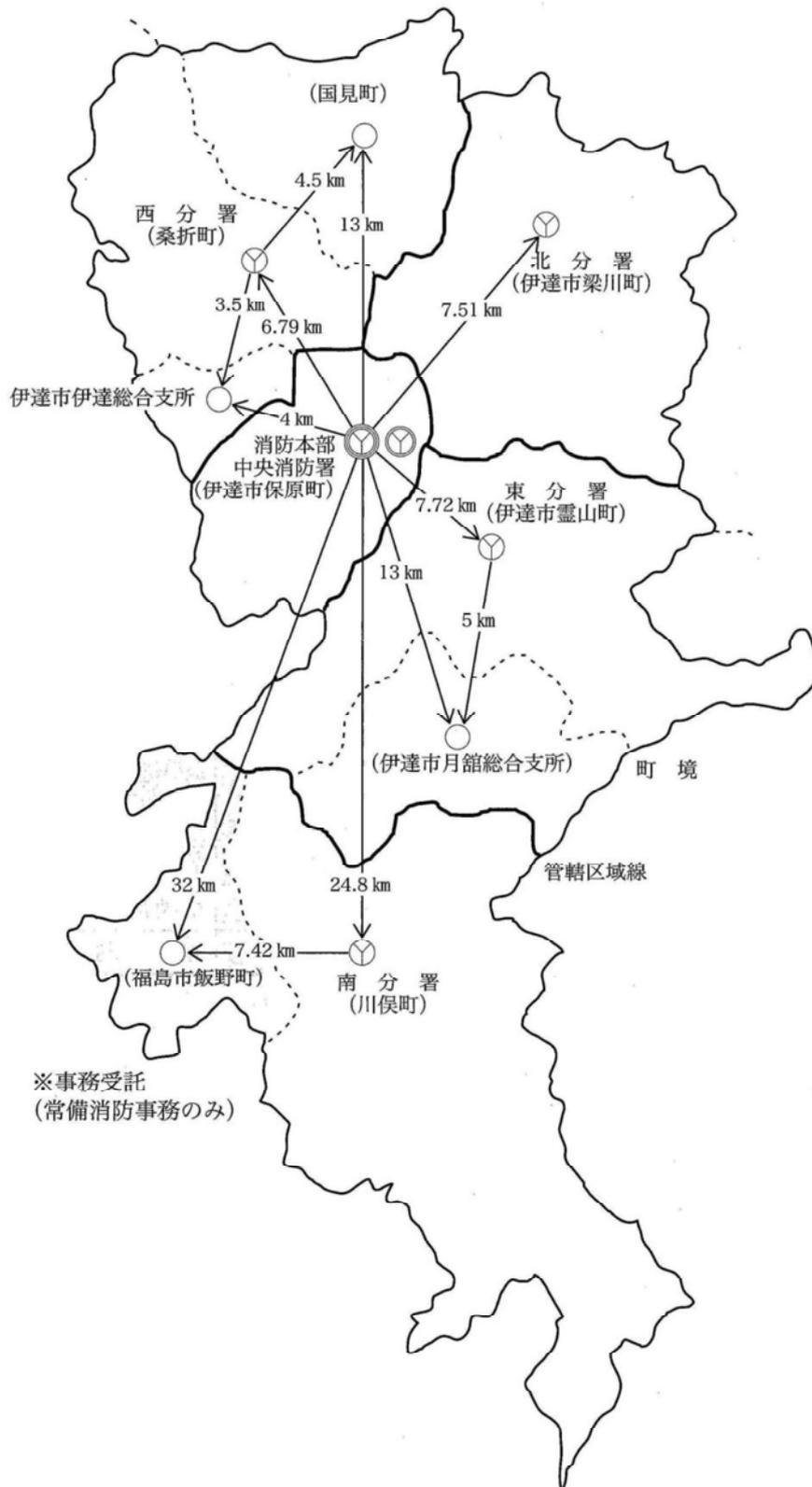
(平成 26 年 4 月 1 日現在)



※事務受託  
(常備消防事務のみ)

凡 例	
	消防本部
	消防署
	分署
	無線基地局
	消防ポンプ自動車 (無線付)
	はしご付消防自動車 (無線付)
	化学消防自動車 (無線付)
	水槽付消防ポンプ 自動車(無線付)
	救助工作車 (無線付)
	救急自動車 (無線付)
	司令車 (無線付)
	事務連絡車
	広報連絡車 (無線付)
	人員資器材搬送車 (無線付)
	指揮兼照明車 (無線付)
	資機材搬送車 (無線付)
	小型動力ポンプ
	小型動力ポンプ付 水槽車

## 消防本部(中央消防署)から分署・各市町間の距離



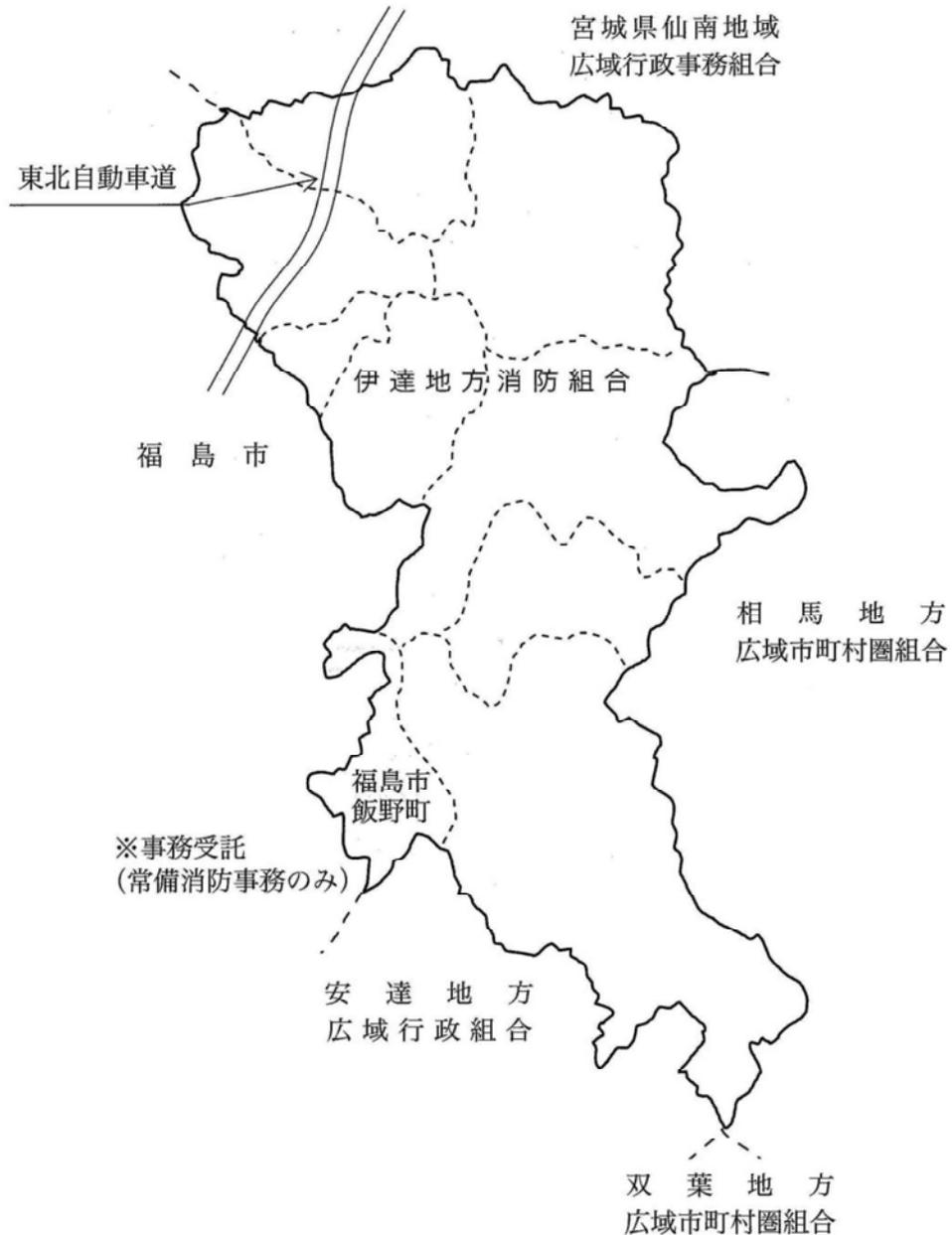
	分署	距離
(中央消防署) 消防本部	東分署	7.72km
	西分署	6.79km
	南分署	24.80km
	北分署	7.51km

凡 例	
	消防本部
	消防署
	分署
	町境
	管轄区域線

## 相互応援協定

(火災・救急その他災害相互応援協定)

市町村等名	締結年月日	相互応援協定の内容
福島市	昭和 48 年 9 月 30 日	火災・救急・その他の災害
相馬地方広域市町村圏組合	昭和 48 年 9 月 1 日	"
安達地方広域行政組合	昭和 49 年 2 月 1 日	"
宮城県仙南地域広域行政事務組合	昭和 50 年 4 月 1 日	" (東北自動車道を含む。)
双葉地方広域市町村圏組合	昭和 58 年 9 月 1 日	"
東北自動車道 1 市 5 組合	平成 2 年 4 月 1 日	東北自動車道上の火災・救急その他の災害
福島県広域消防相互応援協定	平成 9 年 12 月 26 日	福島県内 12 消防本部 大規模特殊災害
火災原因調査に係る相互応援協定	平成 11 年 12 月 27 日	福島県内 12 消防本部 火災原因調査



## 現 勢 消 防 力 調

(平成26年4月1日現在)

面 積	494.94	消 防 機 械	消 防 ポンプ 自 動 車	7	消 防 機 械	団 本 部	4	
			水 槽 付 消 防 ポンプ 自 動 車	4				分 団 数
人 口	107,182		は し ご 付 消 防 自 動 車	1		団 員 数	2410	
			化 学 消 防 ポンプ 自 動 車	1				
世 帯 数	37,560		小 型 動 力 ポンプ	9		消 防 ポンプ 自 動 車	35	
			救 助 工 作 車	1				
消 防 機 構	消防本部		1	高 規 格 救 急 自 動 車		6	水 槽 付 消 防 ポンプ 自 動 車	1
				消防署		1		
分 署	4		4				司 令 車	1
				人 員		154	154	防 火 広 報 車
機 械	人員	154	広 報 連 絡 車		6			小 型 動 力 ポンプ 積 載 車
			機 械	人員	154	小 型 動 力 ポンプ 付 水 槽 車	1	
機 械	人員	154				人 員 資 器 材 搬 送 車	1	
			機 械	人員	154	事 務 連 絡 車	1	
機 械	人員	154				指 揮 兼 照 明 車	1	
			機 械	人員	154	資 機 材 搬 送 車	1	

## 消 防 水 利 現 状 調

(平成26年4月1日現在)

区分 町別	防 火 水 そ う			消 火 栓	そ の 他	合 計
	20m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup>	60m <sup>3</sup>			
伊 達 市	251	323	26	572	97	1,269
桑 折 町	42	99		199		340
国 見 町	61	52	8	134	5	260
川 俣 町	127	15	1	151		294
合 計	481	489	35	1,056	102	2,163

## 消防車両等の現勢調

(平成26年4月1日現在)

所属区分	種別	車両番号	車名	年式	総排気量(cc)	ポンプ種別		購入年月日	経過年数
						ポンプ型式	級別		
消防本部	司令車	す 4881	スバル レガシィB4	21	1,990			21. 2.20	5.2
	広報連絡車	す 8721	ニッサン ADバン	25	1,490			25.12.17	0.4
	人員資器材搬送車	さ 6988	トヨタ ハイエースコミュニ ター	14	2,980			14. 2. 6	12.2
	事務連絡車	そ 4030	トヨタ プリウスアルファ	26	1,790			26.1.24	0.3
	防火広報車	す 3759	トヨタ ハイエースバン	19	2,490			19. 8.30	6.8
消防中央部	救急自動車	す 5429	トヨタ ハイメディック	21	2,690			21.12.16	4.4
	広報連絡車	す 8722	ニッサン ADバン	25	1,490			25.12.17	0.4
	救急自動車	す 9314	トヨタ ハイメディック	9	3,370			9.12.18	16.4
	消防ポンプ自動車	す 7234	いすゞ エルフ	8	4,570	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	8.10.14	17.6
	消防ポンプ自動車	す 6952	いすゞ エルフ	24	2,990	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	24.2.14	2.2
	水槽付消防ポンプ自動車	は 829	日野 レンジャー	24	6,400	モリタ 無給油式ピストン真空ポンプ	A-2	24.2.14	2.2
	救助工作車	は 121	いすゞ フォワード	13	8,220			13. 1.10	13.3
	はしご付消防自動車	は 764	日野 プロフィア	23	8,860			23. 3. 8	3.1
	指揮兼照明車	す 1975	トヨタ ハイエースバン	17	2,490			17.10.31	8.6
	資機材搬送車	す 5430	トヨタ ダイナ	21	4,000			21.12.16	4.4
消防署	小型動力ポンプ		シバウラ TF516SH	17	182	シバウラ 1段タービン	C-1	17. 5.19	8.11
	小型動力ポンプ		トーハツ VF21A	24	209	トーハツ 片吸込1段タービンポンプ	C-1	24.2.14	2.2
	林野火災高圧ポンプ		ウォータールート 350NS一式	53	134	クライスラー		53. 3.23	36.1

所属区分	種 別	車両番号	車 名	年式	総排気量(cc)	ポンプ種別		購入年月日	経過年数
						ポンプ型式	級別		
東 分 署	広報連絡車	す 8723	ニッサン ADバン	25	1,490			25.12.17	0.4
	救急自動車	す 7865	トヨタ ハイメディック	25	2,690			25.1.8	1.3
	消防ポンプ自動車	す 4875	いすゞ エルフ	21	2,990	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	21. 2.25	5.2
	水槽付消防ポンプ自動車	せ 1318	いすゞ フオワード	10	8,200	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	10.10.28	15.6
	小型動力ポンプ		トーハツ V20E	21	198	片吸込 1段タービンポンプ	C-1	21.2.17	5.2
西 分 署	広報連絡車	さ 6618	ニッサン ADバン	13	1,490			13.11.12	12.5
	救急自動車	す 7063	トヨタ ハイメディック	24	2,690			24.3.28	2.1
	救急自動車	さ 8676	トヨタ アンビュランス	15	3,370			15. 3.26	11.1
	消防ポンプ自動車	す 8736	いすゞ エルフ	25	2,990	モリタ 1段ボリュート式ポンプ	A-2	25.12.27	0.4
	消防ポンプ自動車	す 7235	いすゞ エルフ	8	4,570	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	8.10.14	17.6
	化学消防ポンプ自動車	は 38	いすゞ フオワード	11	8,220	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	11.11.29	14.5
	小型動力ポンプ		シバウラ TF15SE	61	166	シバウラ 1段タービン	C-1	61. 2.24	27.2
	小型動力ポンプ		トーハツ V20E	21	198	片吸込 1段タービンポンプ	C-1	21. 8.17	4.8
署	小型動力ポンプ		トーハツ VF21B	25	209	トーハツ 片吸込1段タービンポンプ	C-1	25.12.27	0.4
南 分 署	広報連絡車	に 217	トヨタ カルディナバン	8	1,490			8. 9.20	17.7
	救急自動車	す 3989	トヨタ ハイメディック	19	2,690			19.12.17	6.4
	消防ポンプ自動車	す 8737	いすゞ エルフ	25	2,990	モリタ 1段ボリュート式ポンプ	A-2	25.12.27	0.4
	水槽付消防ポンプ自動車	は 954	日野 レンジャー	25	6,400	モリタ 無給油式ピストン真空ポンプ	A-2	25.2.7	1.2
	小型動力ポンプ付水槽車	は 860	三菱ふそう	8	11.94	トーハツ 1段タービン	B-2	24.3.29	18.2
	署	小型動力ポンプ		シバウラ TF516SH	20	182	シバウラ 1段タービン	C-1	20.10.24
署	小型動力ポンプ		トーハツ VF21B	25	209	トーハツ 片吸込1段タービンポンプ	C-1	25.12.27	0.4
北 分 署	広報連絡車	す 1976	ニッサン ADバン	17	1,490			17.10.31	8.6
	救急自動車	す 8846	トヨタ ハイメディック	26	2,690			26.2.27	0.2
	消防ポンプ自動車	す 5528	いすゞ エルフ	22	2,990	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	22. 2. 4	4.2
	水槽付消防ポンプ自動車	は 678	いすゞ フオワード	21	5,190	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	21. 2.25	5.2
	署	小型動力ポンプ		トーハツ V20E	22	198	片吸込 1段タービンポンプ	C-1	22. 2. 4

# 無線局配置状況調

(平成26年4月1日現在)

局別 署所別	超 短 波							
	基地局	移 動 局				携 帯 局		
		種 別	台	呼 出	台	呼 出	台	呼 出
消防本部	/	司令車	1	だてしょうしれい	1	9	101 102 103 104 105	106 107 108 109
		広報連絡車	1	〃	2			
		人員資器材搬送車	1	〃	3			
		事務連絡車	1	〃	4			
		防火広報車	1	〃	5			
中央消防署	第1 第2 第3 第4	救急自動車	2	だてきゅうきゅう	1	19	111 112 113 114 115 116 117 118 119 120	121 122 123 124 125 126 127 201 202
		広報連絡車	1	だてしょうちゅうおう	11			
		救急自動車	1	〃	12			
		消防ポンプ自動車	1	〃	13			
		消防ポンプ自動車	1	〃	14			
		水槽付消防ポンプ自動車	1	〃	15			
		救助工作車	1	〃	16			
		はしご付消防自動車	1	〃	17			
		指揮兼照明車	1	〃	18			
		資機材搬送車	1	〃	19			
東分署	第1	広報連絡車	1	だてしょうひがし	31	7	131 132 133 134 135 136	137
		救急自動車	1	〃	32			
		消防ポンプ自動車	1	〃	33			
		水槽付消防ポンプ自動車	1	〃	34			
西分署	第1	広報連絡車	1	だてしょうにし	41	8	141 142 143 144 145 146 147 148	
		救急自動車	1	〃	42			
		救急自動車	1	〃	43			
		消防ポンプ自動車	1	〃	44			
		消防ポンプ自動車	1	〃	45			
		化学消防ポンプ自動車	1	〃	46			
南分署	第1	広報連絡車	1	だてしょうみなみ	51	5	152 153 154 155 156	
		救急自動車	1	〃	52			
		消防ポンプ自動車	1	〃	53			
		水槽付消防ポンプ自動車	1	〃	54			
		小型動力ポンプ付水槽車	1	だてすいそう	1			
北分署	第1	広報連絡車	1	だてしょうきた	61	6	161 162 163 164 165 166	
		救急自動車	1	〃	62			
		消防ポンプ自動車	1	〃	63			
		水槽付消防ポンプ自動車	1	〃	64			
合 計	8		35			54		

# 消 防 機 器 材 の 現 有 状 況

(平成26年4月1日現在)

種別	区分	合計	区分						性能・型式
			本部	中央	東	西	南	北	
警	中 継 用 布 水 槽	5		1	1	1	1	1	マリーンA500
	放 水 銃 座	5		1	1	1	1	1	TSWG1.3型
	背 負 い 式 散 放 水 器	113		33	18	26	26	10	181型
	簡 易 発 泡 器	5		1	1	1	1	1	
	ロ ー タ リ ー 管 そ う	13		4	2	3	2	2	
	消 火 栓 立 上 媒 介 金 具	19		5	3	5	4	2	
	二 又 分 岐 金 具	16		3	2	5	4	2	
	三 連 梯 子	13		5	2	2	2	2	
	二 連 梯 子	8		3	1	2	1	1	
	平 梯 子	6		2	1	1	1	1	カギ付
	大 か ぎ 付 単 梯 子	2		2					KHFL-31
	エ ン ジ ン カ ッ タ ー	5		1	1	1	1	1	パートナー、K-12D
	ボ ル ト カ ッ タ ー	15	2	4	2	3	2	2	10m/m、5m/m
	携 帯 投 光 器	8		4	1	1	1	1	
	空 気 呼 吸 器	88		44	6	18	14	6	ライフゼム
	酸 素 呼 吸 器	5		5					〃
	空 気 ボ ン ベ	228		180	12	12	12	12	
	耐 熱 服	13		7	2	0	2	2	4型
	ト ラ ン ジ ス タ ー メ ガ ホ ン	29	3	15	3	3	3	2	
	ホ ー ス ブ リ ッ ジ	29		9	4	6	6	4	50・60mm兼用型S-330-W
東 消 式 フ ォ グ ガ ン	10		2	2	2	2	2	T-200	
オ イ ル フ ェ ン ス	15		3	3	3	3	3	10m	
携 帯 発 電 機	30	1	15	3	5	4	2	ホンダ等	
耐 電 ・ 絶 縁 用 具 一 式	9	1	8						
林 野 火 災 用 高 圧 ポ ン プ	1		1					ウォータールート350NS一式	
訓 練 用 人 形	2		2					ダミー	
泡 ノ ズ ル	6		1	1	2	1	1	ピックアップ式RP-200	
エ ア ー テ ン ト 一 式	2		2					アキレスA-45	
救	心 肺 蘇 生 用 訓 練 器	9		9					レールダル社
	心 肺 蘇 生 用 背 板	8		2	1	2	2	1	
	電 池 式 呼 吸 器	8		2	1	2	2	1	レールダル社
	酸 素 ボ ン ベ	150		130	4	8	4	4	
	保 安 点 滅 灯	10	2	3	1	2	1	1	電池式
	夜 光 安 全 チ ョ ッ キ	50	4	12	4	18	8	4	
	血 圧 計	14		4	2	3	3	2	アネロイド型血圧計大人用ポケット型
	シ ョ ッ ク パ ン ツ	8		2	1	2	2	1	米国デービットクラーク社製
	喉 頭 鏡	14		4	2	3	3	2	マッキントッシュ型
	異 物 除 去 用 鉗 子	9		3	1	2	2	1	マギール鉗子
急	気 道 管 理 ト レ ー ナ	5		1	1	1	1	1	レールダル社製
	自 動 式 心 マ ッ サ ー ジ 器	2				1	1		サンパー心肺蘇生装置
	救 急 車 室 内 紫 外 線 殺 菌 装 置	1		1					
	血 中 酸 素 飽 和 濃 度 測 定 器	13		2	2	3	3	3	ネルコア N-20 P
	AED ト レ ー ナ	17		17					

種別	区分	合計	本部	中央	東	西	南	北	性能・型式	
救	バックボート	11		3	2	2	2	2		
	ガス滅菌器	1		1						
	人工蘇生器	12		3	2	3	2	2		
	リングカッター	6		1	1	2	1	1		
	心電計	5		1	1	1	1	1		
	除細動器	13		3	2	3	3	2		
	輸液セツト	5		1	1	1	1	1		
	気道確保チューブ	5		1	1	1	1	1		
	ターポリン担架	14		2	2	4	4	2		
	高度救急処置シミュレーター	3		3						
急	輸液訓練用モデル	5		1	1	1	1	1		
	殺菌ロッカー	5		1	1	1	1	1		
	救急技術教育ビデオ	1		1					一式	
	特定行為専用バックセット	2		1		1				
救	防爆型携帯電灯	6		6					JL 05104	
	空気式救助マット	1		1					ソフトランディング、SL-40	
	レンジャー担架	12		4	2	2	2	2	平、舟型、TIスプリット、スケッド	
	簡易担架	18	2	3	3	3	4	3		
	救命索発射銃	0								
	救命索発射装置	2		2					レスキューショット	
	空気式救助バッグ	7		7					マイディーバック一式	
	安全マット	2		2						
	安全ネット	1		1					DR式	
	張力計	3		3					YR-100	
	柱上安全帯	6		6					73D、R455、R425、5B	
	大型油圧救助器具	1		1					ルーカス	
	充電式油圧救助器具	2		2					オグラ	
	チェーンブロック	1		1					3t	
	チルホール	9		8			1		T-7、TU-16、T-35	
	チェーンソー	7		3	1	1	1	1	マツカラー、スチール	
	エアソー	3		3					タイガー	
	携帯用エアツール	3		3					Aセット、Bセット	
	ガス遮断機	1		1					ニューチョパック	
	ポートパワー	4		2		2			20t	
	削岩機	2		2					ピコ14、DH40MRY	
	ファイバースコープ	2		2					カールシーカーMY-400	
	救助用ボート	3		3					アキレスSU-14、アキレスSE365	
	救助ボート用船外機	3		3					ホンダBF9.9AMLJ、ヤマハ20CM	
	助	救命胴衣	61		25	9	9	9	9	KSK1～3、ライフジャケット
		救命浮環	18		4	3	4	4	3	
		かぎ付はしご	1		1					KHFL-CT
		ワイヤーはしご	1		1					ケービングラダー-11m
		マンホール救助器具	1		1					ロールグリスMR-110
		携帯用コンクリート破壊器具	1		1					ストライカーTR-800
防毒マスク		5		5					GM-164有機缶付き	
携帯警報器		10		10					レスキューコール	
放射線防護服		3		3					NUK-500	

種別	区分	合計	本部	中央	東	西	南	北	性能・型式	
救	放射線測定器(空間線量計)	33	15	6	3	3	3	3	NHE20CY3-131BY-S	
	放射線測定器(表面汚染検査計)	16	11	1	1	1	1	1	RDS-80	
	個人線量計	234	94	46	22	25	25	22	DOSE i-γ	
	吊り上げ救助器具	1		1					4ポイントブラインドール一式	
	送排風機	1		1					RFE-282Y	
	防塵マスク	5		5					DR-165-6	
	帯電服	5		5					YS-121	
	帯電ズボン	5		5					YS122	
	防毒衣	3		3					RS-11000	
	緩降機	1		1					スローダウン20m	
助	ロープ登降機	3		3					ASCENSION BO7R	
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1		1					CT101 CB	
予	煙体験用資器材	2	1	1					体験ハウス、発煙機、発電機	
	映写機	3	2	1					ホクシン16m/m・液晶VIP400	
	投影機	3	3						プラス。OHP CX-500	
	ビデオ装置	6	1	1	1	1	1	1	NV-H230G	
	カメラ	11	2	2	2	2	1	2		
	インスタントカメラ	7	1	2	1	1	1	1	F-50 S	
	テープレコーダー	11	1	2	2	2	2	2		
	自記温湿度計	1		1					シグマII型	
	スクリーン	3	1	2					プラスKSV-80	
	映画フィルム	27	27							
防	騒音計	1	1						OS-11	
	電子テスター	1	1						日置	
	漏電遮断機テスター	2	2						〃	
	自動接地抵抗計	1	1						ナショナル	
	ガス検知器	7	1	1	1	2	1	1	XP305・他に北側式(5)	
	放水圧力測定器	3	3						40用E-1、65用E-2	
	引火点試験器	2	2						タグ密閉式、クリーンブライント'開放式	
	膜厚計	3	3						SL-F20型・SM-1500 D	
	加熱試験器	1	1						HK3	
	メジャーポール	5		1	1	1	1	1	8段6m	
そ	訓練用水消火器	51		15	9	9	9	9		
	エアークンプレッサー	5		1	1	1	1	1		
	ガレージジャッキ	6		2	1	1	1	1	10t、5t、3t	
	サービスキット	5		1	1	1	1	1		
	リジトラック	10		2	2	2	2	2	5t用	
	洗車機	5		1	1	1	1	1		
	エアインパクトレンチ	1		1					空研KW-14HP	
	電気ドリル	1		1						
	電気ディスクグラインダー	1		1						
	電気丸のこ	1		1						
の	コンビネーションガス測定器	11		7	1	1	1	1		
	空気充填用コンプレッサー	1		1					AVC14型	
	充電器	6		1	1	1	1	2		
	エアークラスセット	1		1					いわたW71-3S	
	エレクトロツールセット	7	1	2	1	1	1	1	宝山S-10	
	他									

# 救 助 統 計



## 事故種別出場件数活動件数調

(平成25年)

件数区分	事故種別		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	その他 の事故	計
	火	災									
	建物	建物 以外									
出 場 件 数	1		47	6	1	4	2	1		9	71
活 動 件 数	1		16	5		3	1			6	32

(注) 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

## 事故種別車両別救出者搬送人員調

(平成25年)

件数区分	事故種別		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	その他 の事故	計
	火	災									
	建物	建物 以外									
救 急 自 動 車			15			2				5	22
消防機関のその他の車両等											
消防機関以外の車両等 (ドクターヘリ等)			1	1		1					3
計			16	1		3				5	25

(注) 1 本表は、事故種別ごとに、救出者の搬送方法を記載する。

2 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

## 事故種別出場人員活動人員調

(平成25年)

事故種別 件数区分		火 災		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	その他 の事故	計	
		建物	建物 以外										
出 場 人 員	専任救急隊員												
	兼任救助隊員	5		184	34	4	17	6	5		31	286	
	消 防 隊 員	20		90	49	3	11		2		13	188	
	救 急 隊 員			179	20		12	6			30	247	
	消 防 団 員												
	計	25		453	103	7	40	12	7			74	721
活 動 人 員	専任救急隊員												
	兼任救助隊員	5		54	29		9	3			15	115	
	消 防 隊 員	20		51	44		9				10	134	
	救 急 隊 員			64	17		9	3			21	114	
	消 防 団 員												
	計	25		169	90		27	6				46	363

(注) 1. 本表は、事故種別ごとに、救助活動のために出場した人員及び活動した人員を記載する。

2. 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

## 事故種別出場車両及び活動車両等台数調

(平成25年)

事故種別 件数区分		火災		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	その他 の事故	計	
		建物	建物 以外										
出 場 車 両 等	救 助 工 作 車	1 (1)		46 (12)	6 (5)	1	4 (2)	2 (1)	1		8 (4)	69 (25)	
	ポンプ自動車	5 (5)		19 (10)	7 (7)		2 (2)		1		4 (3)	38 (27)	
	屈折はしご車・はしご車					1						1	
	化 学 車			8 (5)	1	1	1 (1)						11 (6)
	指揮車・司令車	1 (1)			3 (3)								4 (4)
	救 急 車			55 (18)	6 (5)		4 (3)	2 (1)				9 (6)	76 (33)
	船 舶												
	ヘリコプター												
	そ の 他	1 (1)		2	11 (10)		1						15 (11)
	消 防 団 車 両												
計		8 (8)		130 (45)	34 (30)	3	12 (8)	4 (2)	2		21 (13)	214 (106)	

(注)1 本表は、事故種別ごとに、救助活動のために出場した車両等のうち実際に活動した車両等の台数について記載する。

2 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

3 ( )は、活動車両

## 事故種別発生場所別出場件数及び活動件数調

(平成25年)

事故種別 件数区分		火災		交通 事故	水難 事故	風水 害等 自然 災害	機 械 による 事故	建物 等によ る事故	ガス及 び酸 欠事 故	爆発 事故	その 他の 事故	計	
		建物	建物 以外										
屋 内	住 居	1 (1)						2 (1)			1 (1)	4 (3)	
	そ の 他 の 屋 内						1 (1)					1	
屋 外	道 路	高 速 道 路 国 道		3								3	
		そ の 他 の 道 路		35 (10)							2 (2)	37 (12)	
	水 面	内 水 面		1 (1)	6 (5)							1 (1)	8 (7)
		外 水 面											
	山 岳												
	そ の 他 の 屋 外		8 (5)		1	3 (2)		1		5 (2)	18 (9)		
地 下													
そ の 他													
計		1 (1)		47 (16)	6 (5)	1	4 (3)	2 (1)	1		9 (6)	71 (32)	

(注)1 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

2 ( )は、活動件数

# 事故種別発生場所別救助人員調

(平成25年)

事故種別 件数区分		火災		交通 事故	水難 事故	風水等 自然 災害	機械に よる 事故	建物 等による 事故	ガス及 び酸 欠事 故	爆発 事故	その他 の事故	計	
		建物	建物 以外										
屋 内	住居	1						1			1	3	
	その他の屋内						1					1	
屋 外	道 路	高速道路											
		その他の道路			10						2	12	
	水 面	内水面			1	5						1	7
		外水面											
	山岳												
	その他の屋外			5			2				2	9	
地 下													
そ の 他													
計		1		16	5		3	1			6	32	

(注) 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

# 救急統計



## 平成25年救急活動の概要

### 1 救急出場状況

救急出場件数は4,590件で、前年より70件(1.5%)減少し、搬送人員も4,375人で前年より101人(2.3%)減少している。

搬送人員を年齢別に見ると老人(65歳以上)が2,997人(前年比34人減1.1%減)で全体の68.5%を占めている。

次いで成人(18歳から64歳)が1,146人(前年比63人減5.2%減)で全体の26.2%となっている。

1日平均出場件数は12.5件で、やや減少している。

伊達消防本部管内では、約23.7人に1人の割合で救急車を利用したことになる。

### 2 月別出場件数

月別の救急出場状況は1月の469件が最も多く、次いで3月の413件となっている。

また、月平均出場件数は382.5件(前年比5.8件減、1.5%減)で、月平均搬送人員は364.6人(前年比8.4人減、2.3%減)となっている。

### 3 市町別出場状況

市町別出場件数では、伊達市(旧伊達、保原、梁川、霊山、月舘町)が2,706件(前年比26件減、0.9%減)と最も多く、次いで川俣町の726件(前年比18件減、2.4%減)、桑折町527件(前年比24件増、4.8%増)の順となっている。

### 4 事故種別出場状況

事故種別では、急病の出場件数が3,112件(前年比62件減、2.0%減)で最も多く、全体の67.8%を占めている。

次いで一般負傷589件(前年比46件減、7.2%減)で全体の12.8%、転院搬送404件(前年比同じ)で全体の8.8%、交通事故328件(前年比20件増、6.5%増)で全体の7.1%の順となっている。

### 5 医療機関別搬送状況

搬送人員の55.4%にあたる2,423人(前年比94人減、3.8%減)が管内の医療機関に搬送され、44.6%にあたる1,952人(前年比7人減、0.4%減)が管外の医療機関に搬送されている。

### 6 高速道路(東北自動車道)への出場状況

東北自動車道への出場状況は、32件(前年比2件減、5.9%減)、搬送人員は29人(前年比16人減、35.6%減)となっている。

特に交通事故による出場件数は、15件(前年比8件減、34.8%減)で、全体の46.9%を占めており、急病は13件(前年比5件増、62.5%増)で、全体の40.6%となっている。

# 市町別・月別救急出場状況

(平成25年)

市町名 区分		月別												合計 (A)	前年 (B)	増減数 A-B (C)	増減率 % C/B×100		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月						
伊達市	旧伊達町	出場件数	55	48	45	47	28	40	43	41	38	43	43	56	527	508	19	3.74	
		搬送人員	51	41	45	45	25	37	43	40	37	43	39	43	489	485	4	0.82	
	旧梁川町	出場件数	75	53	60	60	56	55	53	54	51	50	61	55	683	668	15	2.25	
		搬送人員	72	52	61	57	53	53	53	49	48	46	59	57	660	636	24	3.77	
	旧保原町	出場件数	108	84	90	89	57	80	65	71	79	67	85	88	963	980	△ 17	△ 1.73	
		搬送人員	103	78	83	83	55	78	60	68	79	65	79	83	914	942	△ 28	△ 2.97	
	旧霊山町	出場件数	40	34	32	32	23	35	31	22	22	36	29	46	382	416	△ 34	△ 8.17	
		搬送人員	36	31	29	27	24	35	30	21	21	35	27	40	356	404	△ 48	△ 11.88	
	旧月舘町	出場件数	14	12	14	13	16	8	8	18	15	11	10	12	151	160	△ 9	0.74	
		搬送人員	13	12	14	13	16	7	7	17	15	11	9	10	144	153	△ 9	△ 5.88	
	小計	出場件数	292	231	241	241	180	218	200	206	205	207	228	257	2,706	2,732	△ 26	△ 0.95	
		搬送人員	275	214	232	225	173	210	193	195	200	200	213	233	2,563	2,620	△ 57	△ 2.18	
	伊達郡	桑折町	出場件数	44	44	54	53	53	40	49	40	35	50	38	27	527	503	24	4.77
			搬送人員	42	46	47	55	52	38	47	37	33	46	38	25	506	477	29	6.08
国見町		出場件数	45 (3)	24	33 (3)	35	34 (3)	28	31	38 (3)	40 (3)	30	32 (1)	36	406 (16)	411 (15)	△ 5 1	△ 1.22	
		搬送人員	41 (3)	23	33 (3)	33	33 (2)	27	29	37 (3)	40 (3)	31	30 (1)	34	391 (15)	393 (12)	△ 2 3	△ 0.51	
川俣町		出場件数	60	65	64	45	69	56	65	68	49	61	52	72	726	744	△ 18	△ 2.42	
		搬送人員	59	60	65	43	69	53	64	66	49	61	48	66	703	707	△ 4	△ 0.57	
福島市	飯野町	出場件数	28	20	20	15	20	14	18	24	18	7	14	10	208	226	△ 18	△ 7.96	
		搬送人員	26	18	20	13	20	14	18	23	16	7	13	9	197	225	△ 28	△ 12.44	
その他	出場件数			1	1	1 (1)	2 (1)	3 (2)	4 (4)	1 (1)			4 (2)	17 (11)	44 (16)	△ 27 △ 5	△ 61.36		
	搬送人員			1	1	2 (2)	1 (2)	2 (2)	2 (2)				6 (2)	15 (8)	54 (30)	△ 39 △ 22	△ 72.22		
合計	出場件数	469 (3)	384	413 (3)	390	357 (4)	358 (1)	366 (2)	380 (9)	348 (4)	355	364 (2)	406 (4)	4,590 (32)	4,660 (34)	△ 70 △ 2	△ 1.50		
	搬送人員	443 (3)	361	398 (3)	370	349 (4)	343	353 (2)	360 (8)	338 (3)	345	342 (2)	373 (4)	4,375 (29)	4,476 (45)	△ 101 △ 16	△ 2.26		

( )は、東北自動車道への出場状況

## 市町別・事故種別救急出場状況

(平成25年)

市町名 区分		事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計	
													転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他		
伊達市	旧伊達町	出場件数	2		2	35	4	2	59	2	3	312	104			2	527	
		搬送人員	2			38	4	2	58	2	2	278	103				489	
	旧梁川町	出場件数	2			48	6	2	98	2	6	496	21			2	683	
		搬送人員	2			50	6	2	96	2	4	475	21			2	660	
	旧保原町	出場件数	2			60	7	8	124	7	11	636	105			3	963	
		搬送人員	1			61	7	8	118	5	8	600	105			1	914	
	旧霊山町	出場件数	3			27	2	1	51	1	5	274	14			4	382	
		搬送人員	3			26	2	1	50		3	257	14				356	
	旧月舘町	出場件数	1			8	2	1	22		2	110	4			1	151	
		搬送人員	1			8	2	1	22		1	105	4				144	
	小計	出場件数	10		2	178	21	14	354	12	27	1828	248			12	2706	
		搬送人員	9			183	21	14	344	9	18	1715	247			3	2563	
	伊達郡	桑折町	出場件数			1	51 (4)	7	6	70	1	9	374 (1)	7			1	527 (5)
			搬送人員				55 (5)	7	6	66	1	6	358 (1)	7				506 (6)
国見町		出場件数	1			18 (4)	2	3	52 (3)		2	256 (9)	71			1	406 (16)	
		搬送人員	2			19 (4)	2	3	49 (3)		1	244 (8)	71				391 (15)	
川俣町		出場件数	1			52	8	4	93	2	5	491	70				726	
		搬送人員	1			56	8	3	90	2	5	469	69				703	
福島市	飯野町	出場件数				19	2		20		1	158	8				208	
	搬送人員					19	2		20			148	8				197	
その他	出場件数	1 (1)			10 (8)						1	5 (2)					17 (11)	
	搬送人員				11 (7)						1	3 (1)					15 (8)	
合計	出場件数	13 (1)		3	328 (16)	40	27	589 (3)	15	45	3,112 (12)	404			14	4,590 (32)		
	搬送人員	12			343 (16)	40	26	569 (3)	12	31	2,937 (10)	402			3	4,375 (29)		

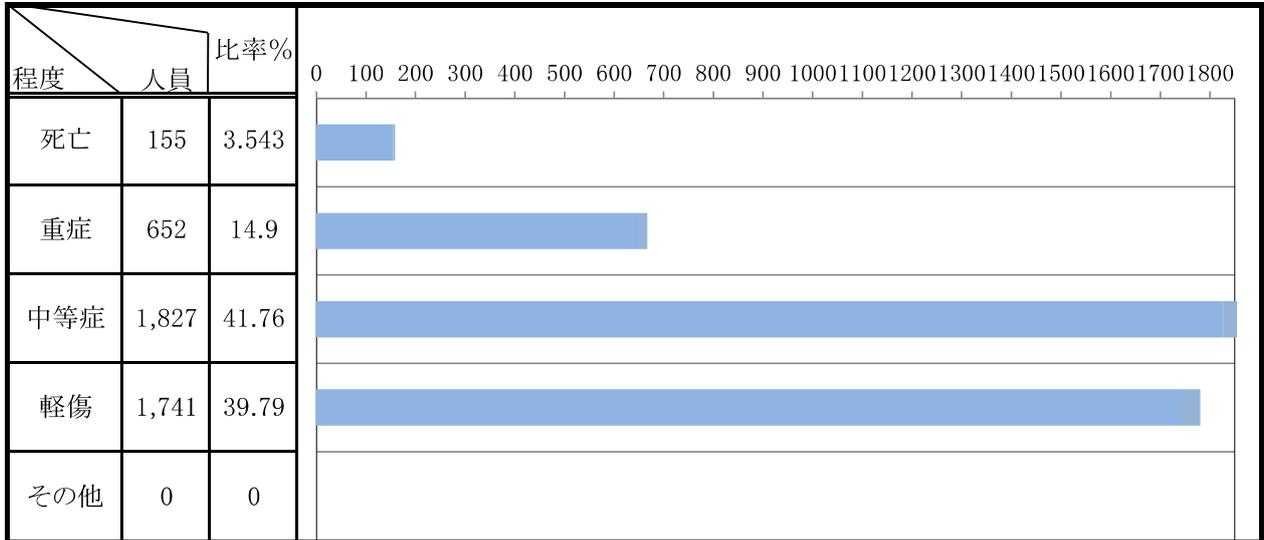
( )は、東北自動車道への出場状況

## 事故種別救急出場状況(前年比較)

(平成25年)

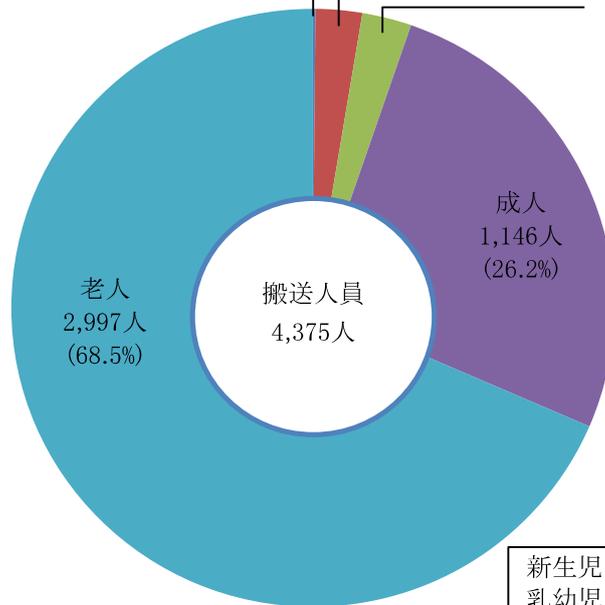
区 分		平成25年 (A)	平成24年 (B)	増減数 (C)=(A)-(B)	増減率(100%) (C)÷(B)×100
火災	出場件数	13	5	8	160.0
	搬送人員	12	5	7	140.0
自然災害	出場件数	0	0	0	0.0
	搬送人員	0	0	0	0.0
水難	出場件数	3	0	3	300.0
	搬送人員	0	0	0	0.0
交通	出場件数	328	308	20	6.5
	搬送人員	343	352	△ 9	△ 2.6
労働災害	出場件数	40	40	0	0.0
	搬送人員	40	40	0	0.0
運動競技	出場件数	27	35	△ 8	△ 22.9
	搬送人員	26	34	△ 8	△ 23.5
一般負傷	出場件数	589	635	△ 46	△ 7.2
	搬送人員	569	609	△ 40	△ 6.6
加害	出場件数	15	4	11	275.0
	搬送人員	12	4	8	200.0
自損行為	出場件数	45	34	11	32.4
	搬送人員	31	21	10	47.6
急病	出場件数	3,112	3,174	△ 62	△ 2.0
	搬送人員	2,937	3,005	△ 68	△ 2.3
その他	出場件数	418	425	△ 7	△ 1.6
	搬送人員	405	406	△ 1	△ 0.2
合 計	出場件数	4,590	4,660	△ 70	△ 1.5
	搬送人員	4,375	4,476	△ 101	△ 2.3

### 搬送人員傷病程度別分類状況



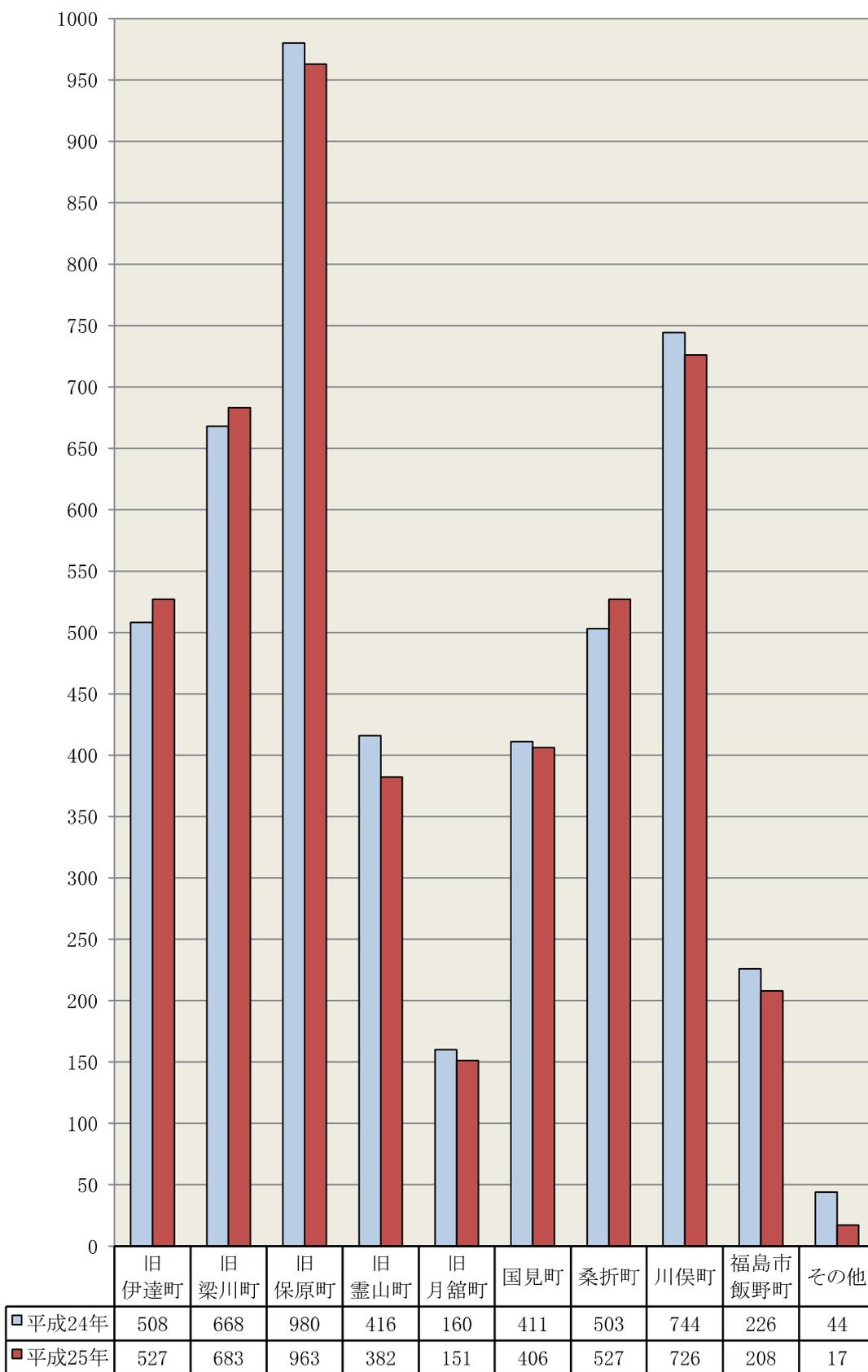
### 搬送人員年齢別比率

新生児 6人(0.1%)      乳幼児 110人(2.5%)  
 少年 116人(2.7%)



新生児: 生後28日以内の者  
 乳幼児: 生後29日以上6才までの者  
 少年: 7歳以上17才までの者  
 成人: 18才以上64才までの者  
 老人: 65才以上の者

### 市町別救急出場状況(前年比較)

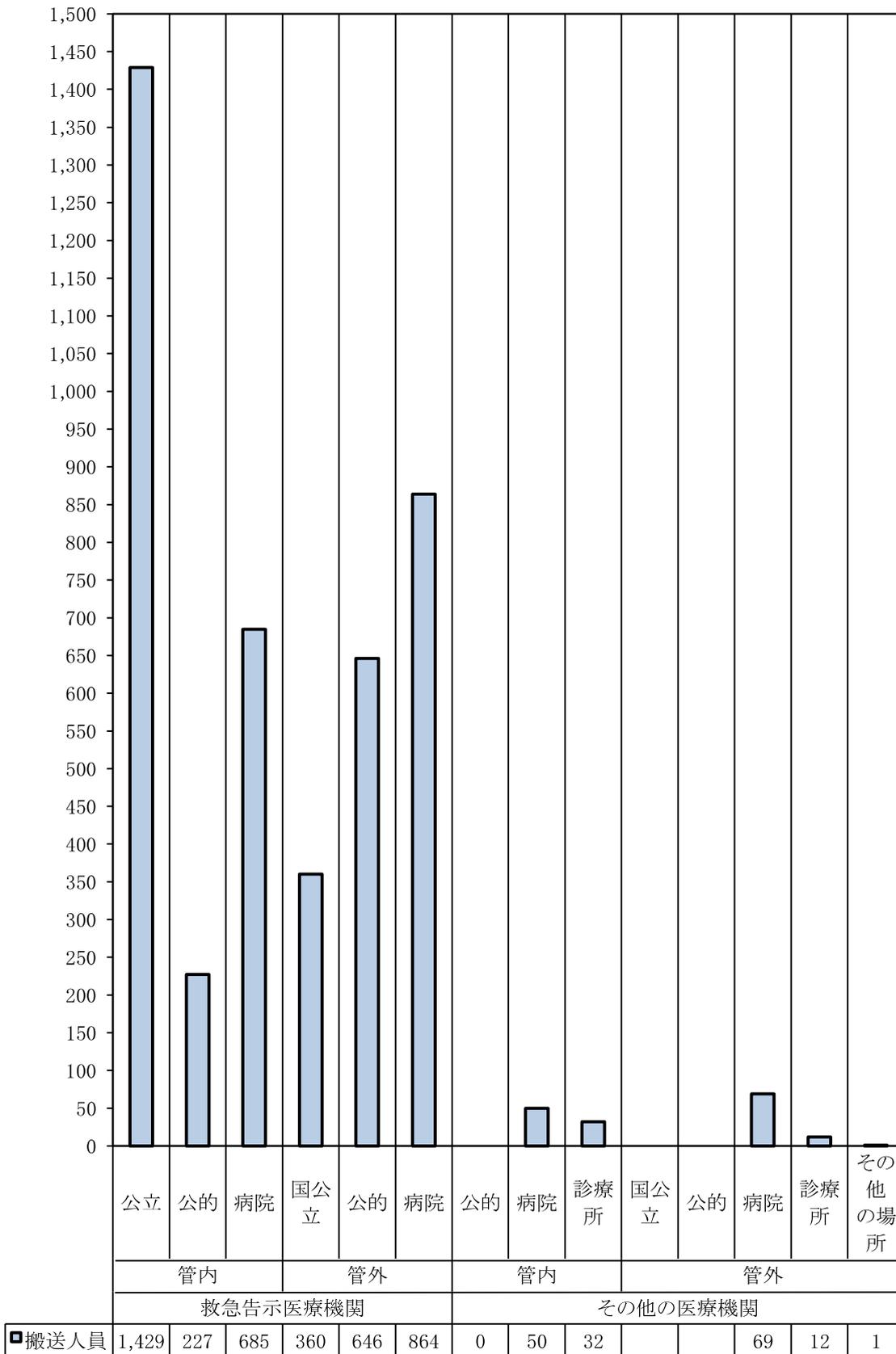


# 急病にかかる疾病分類別傷病程度別搬送人員調

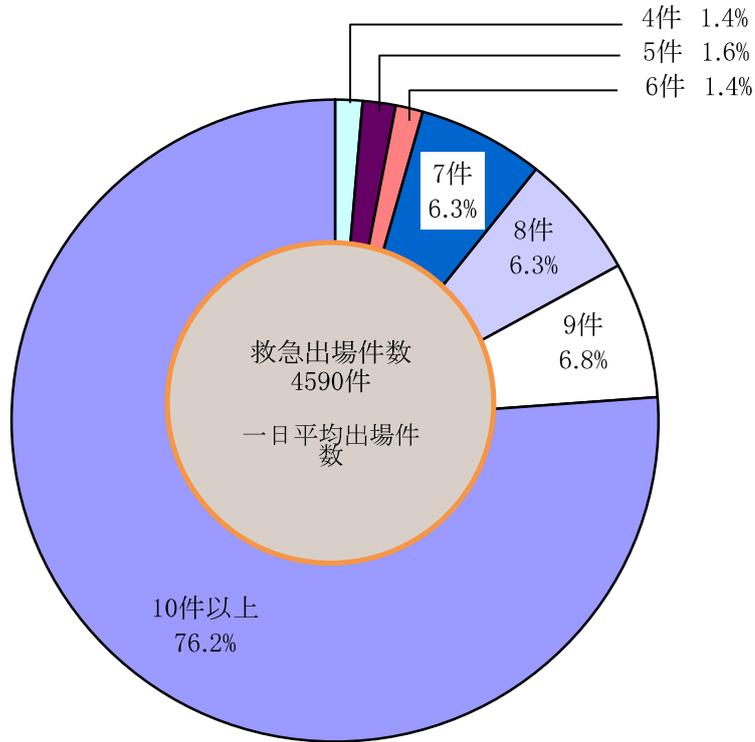
(平成25年)

区分	循環器系		消化器系	呼吸器系	精神系	感覚系	泌尿器系	新生物	その他	診断名不明確	計	
	脳疾患	心疾患										
新生児	死亡											
	重症											
	中等症											
	軽症											
	その他											
計												
乳幼児	死亡											
	重症											
	中等症			1	5		1	1	1	16	25	
	軽症			4	4	1	3		2	25	39	
	その他											
計			5	9	1	4	1	3	41	64		
少年	死亡											
	重症									1	1	
	中等症			4	4		1	2	2	3	16	
	軽症			1	3	5	6		1	5	13	34
	その他											
計			5	7	5	7	2	1	7	17	51	
成人	死亡	2	7	1						4	14	
	重症	20	11	4	4	4	4	1	7	4	1	60
	中等症	10	13	50	13	15	16	7	3	44	50	221
	軽症	6	23	43	31	64	19	44	2	54	88	374
	その他											
計	38	54	98	48	83	39	52	12	102	143	669	
老人	死亡	5	47	3	4				8	33	13	113
	重症	108	60	19	60	1	8	5	9	32	17	319
	中等症	99	117	122	241	12	37	61	32	165	158	1,044
	軽症	53	69	66	69	22	31	28	7	122	210	677
	その他											
計	265	293	210	374	35	76	94	56	352	398	2,153	
合計	死亡	7	54	4	4				8	33	17	127
	重症	128	71	23	64	5	12	6	16	36	19	380
	中等症	109	130	177	263	27	55	71	36	211	227	1,306
	軽症	59	92	114	107	92	59	72	12	181	336	1,124
	その他											
計	303	347	318	438	124	126	149	72	461	599	2,937	

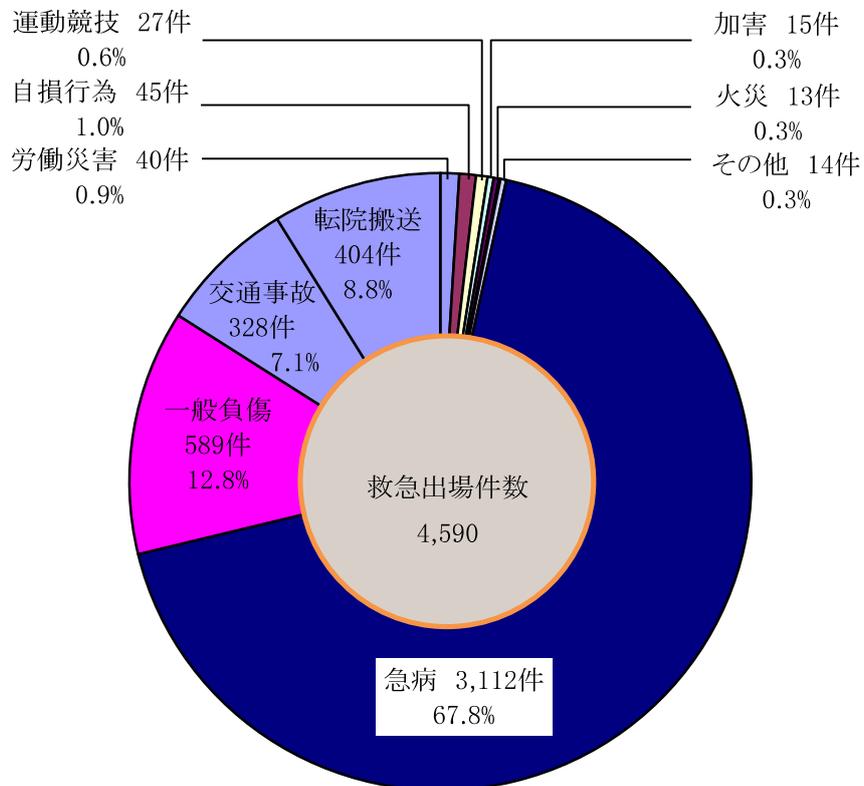
## 医療機関別搬送状況



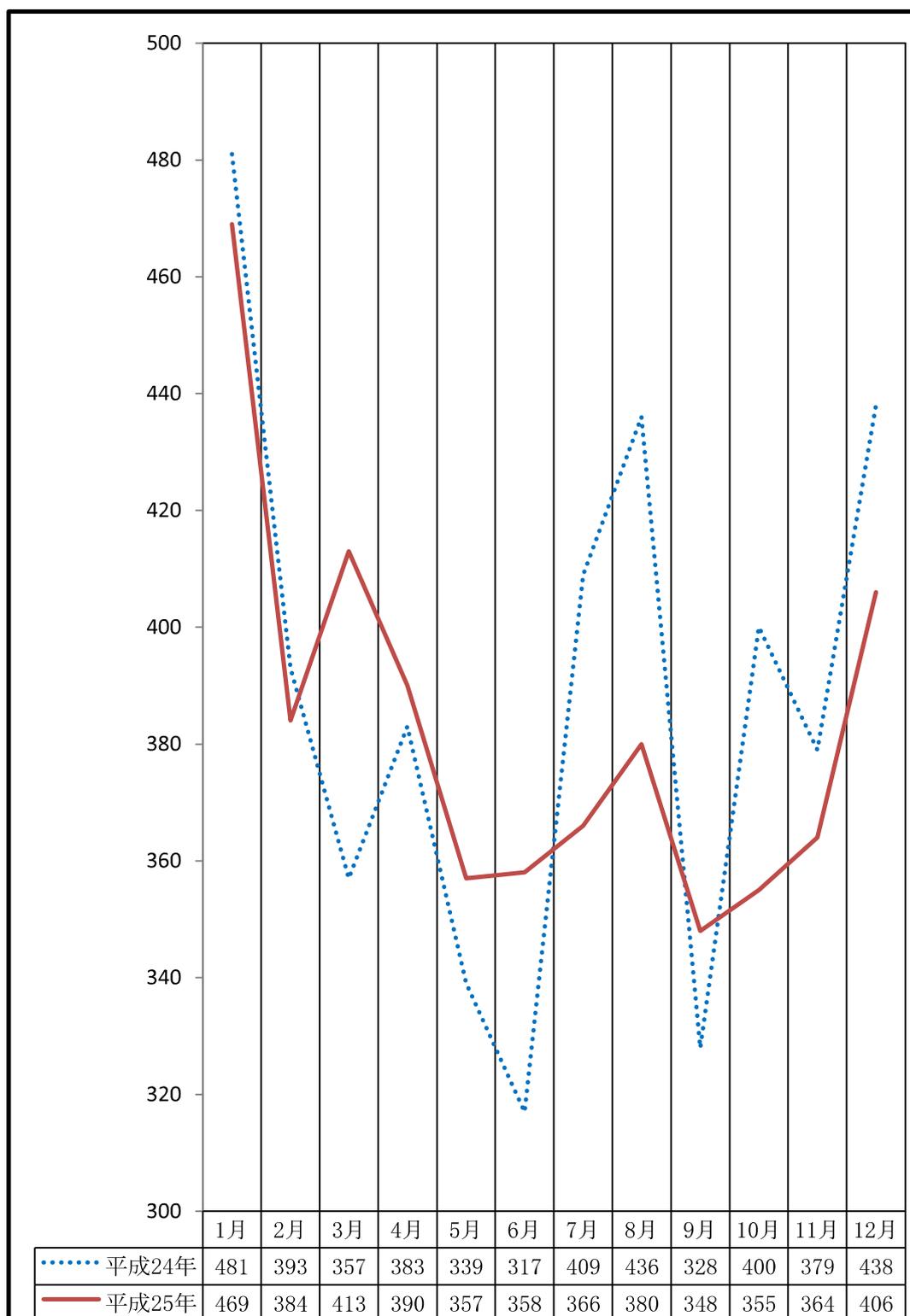
### 一日の救急出場件数比率



### 事故種別救急出場件数比率



## 月別出場件数(前年比較)



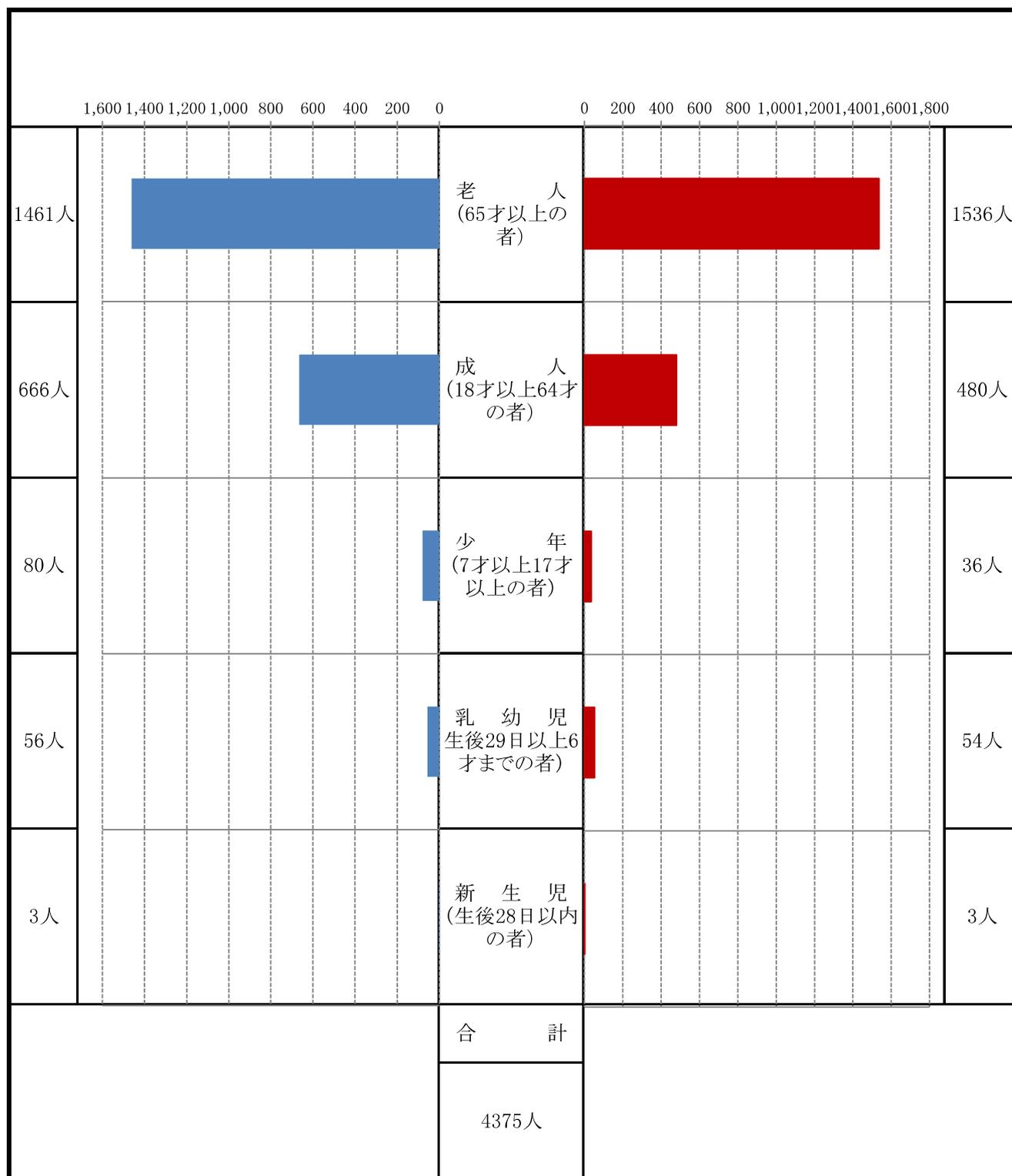
## 事故種別・時間別救急出場状況

区 分	火災	自然 災害	水難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他				合計
											転院 搬送	医師 搬送	資器材 等輸送	その他	
時  間  別  内  訳	0～2			3		1	12	9		134	3				162
	2～4	1			5		15	2	3	125	2			3	156
	4～6	1			13		19		4	142	3				182
	6～8				45	2	49		6	279	4				385
	8～10	1		1	44	7	2	88		3	397	50		1	594
	10～12	7			50	6	12	63		5	328	101		1	573
	12～14	1		1	31	5	4	79		5	299	87		3	515
	14～16				40	7	6	55		2	299	64		2	475
	16～18	1		1	47	8		75		4	269	55		1	461
	18～20				25	3		65	1	4	354	19		1	472
	20～22	1			11	2	2	46		7	296	10		1	376
	22～24				14			23	3	2	190	6		1	239
合 計	13		3	328	40	27	589	15	45	3,112	404		14	4,590	

# 性別・年齢別搬送人員状況

(男 2266人)

(女 2109人)



### 過去5年間の事故種別救急出場状況

区分		合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
平成21年	出場件数	3894	4			300	27	12	511	9	45	2607	379
	搬送人員	3710	3			326	27	14	494	5	24	2462	355
平成22年	出場件数	4204	9		1	324	30	45	540	8	46	2798	403
	搬送人員	4060	8			348	30	46	514	7	36	2679	392
平成23年	出場件数	4755	2	11	1	321	42	20	641	9	47	3226	435
	搬送人員	4555	2	10		339	42	21	616	8	33	3064	420
平成24年	出場件数	4660	5			308	40	35	635	4	34	3174	425
	搬送人員	4476	5			352	40	34	609	4	21	3005	406
平成25年	出場件数	4590	13		3	328	40	27	589	15	45	3112	418
	搬送人員	4375	12			343	40	26	569	12	31	2937	405

(過去5年間の平均出場状況)

平均	出場件数	4420.6	6.6	2.2	1.0	316.2	35.8	27.8	583.2	9.0	43.4	2983.4	412.0
	搬送人員	4235.2	6.0	2.0	0.0	341.6	35.8	28.2	560.4	7.2	29.0	2829.4	395.6

## 現場到着所要時間別出場件数調

区分	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計
急病	112	355	1780	828	37	3112
交通事故	10	33	151	110	24	328
一般負傷	20	64	336	164	5	589
その他	23	115	307	112	4	561
計	165 (3.6%)	567 (12.4%)	2574 (56.1%)	1214 (26.4%)	70 (1.5%)	4590

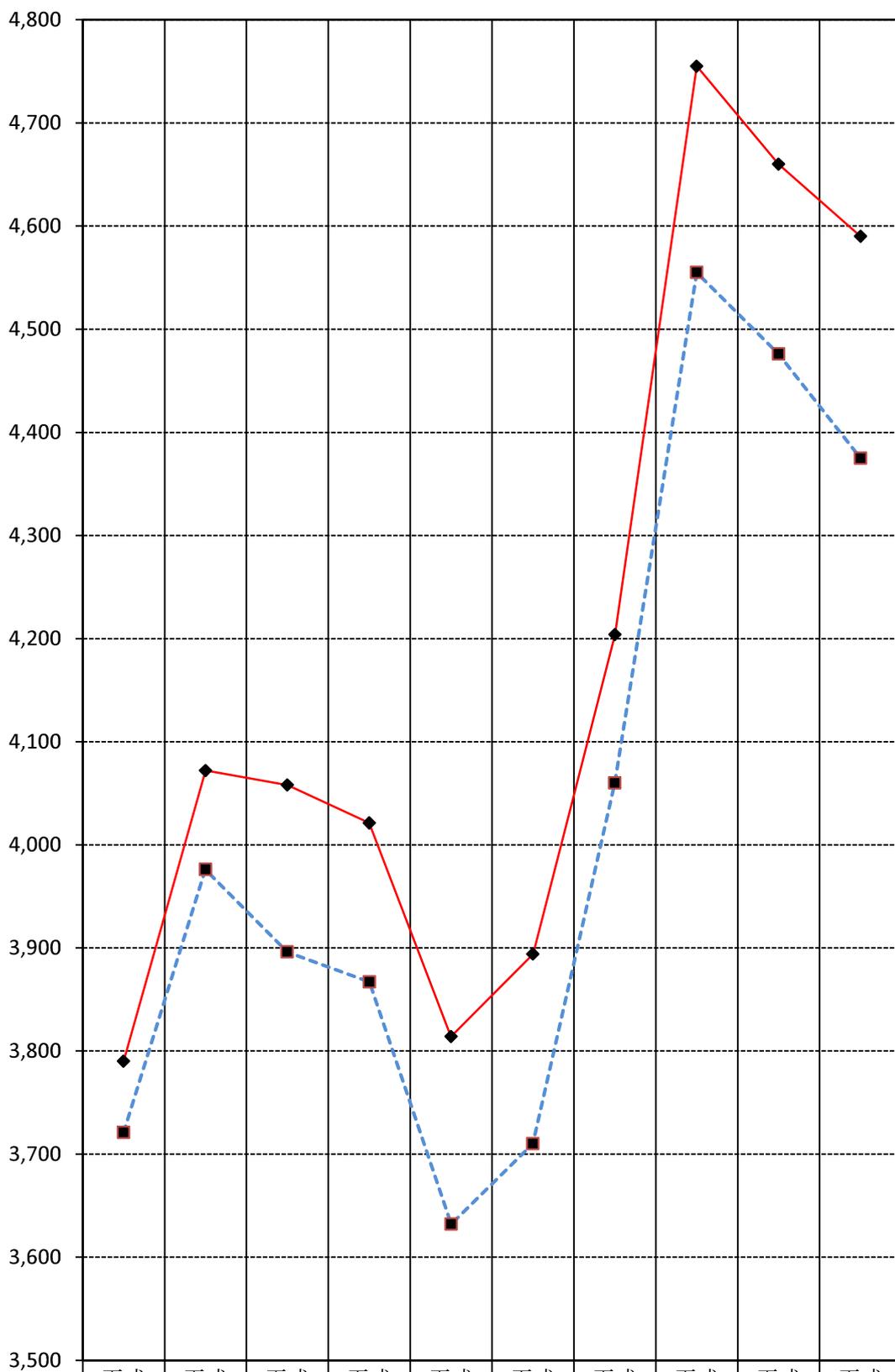
(注) 本表は、覚知から現場到着までに要した時間区分ごとの件数を記載したものである。

## 収容時間別搬送人員数調

区分	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計
急病		72	593	1957	314	1	2937
交通事故		2	41	246	52	2	343
一般負傷		3	98	389	78	1	569
その他	1	8	118	362	35	2	526
計	1 (0.02%)	85 (1.9%)	850 (19.4%)	2954 (67.5%)	479 (10.9%)	6 (0.14%)	4375

(注) 本表は、覚知から傷病者を医療機関等に収容した時までに要した時間区分ごとの搬送人員を記載したものである。

### 過去10年の救急出場件数



出場件数	3,790	4,072	4,058	4,021	3,814	3,894	4,204	4,755	4,660	4,590
搬送人員	3,721	3,976	3,896	3,867	3,632	3,710	4,060	4,555	4,476	4,375

## 市町別の救急出場率及び搬送割合の推移

市町別 区分	平成21年		平成22年		平成23年		平成24年		平成25年	
	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)
伊達市	330.9	31.6	354.1	28.2	422.6	24.6	426.1	23.5	417.5	23.9
桑折町	312.8	32.9	346.1	28.9	454.1	23.1	403.6	24.8	416.8	23.9
国見町	324.9	32.3	320	31.2	387.1	27.2	415.3	24.1	405.8	24.6
川俣町	368.6	28.7	396.3	25.2	495.2	21.3	495.5	20.2	478.2	20.9
福島市 飯野町	347.3	31.4	306.4	32.6	364.5	27.4	389.7	25.7	368.2	27.2
管内	338.7	31	357.8	27.9	458.3	24.1	430.23	23.2	422.3	23.7

※ (A) 救急出場率:人口1万人あたりの救急出場件数

(B) 住民搬送割合:何人に1人の人が、救急車により搬送されているかの割合

平成25年中、伊達消防本部管内においては、約23.7人に1人の割合で救急車で搬送されていることを表す。

※ 人口は平成25年4月1日現在の推計人口(消防年報より)

## 署・分署別救急出場状況(前年比較)

区分		平成25年 (A)	平成24年 (B)	増減数 (C)=(A)-(B)	増減率(100%) (C)÷(B)×100
中央消防署	出場件数	1,109	1,139	△ 30	△ 2.6
	搬送人員	1,058	1,089	△ 31	△ 2.8
東分署	出場件数	562	616	△ 54	△ 8.8
	搬送人員	530	585	△ 55	△ 9.4
西分署	出場件数	1,312	1,281	31	2.4
	搬送人員	1,235	1,232	3	0.2
南分署	出場件数	917	942	△ 25	△ 2.7
	搬送人員	889	909	△ 20	△ 2.2
北分署	出場件数	690	682	8	1.2
	搬送人員	663	661	2	0.3
合 計	出場件数	4,590	4,660	△ 70	△ 1.5
	搬送人員	4,375	4,476	△ 101	△ 2.3

## 救急隊が人工呼吸・心臓マッサージを実施した傷病者調

区分		事 故 種 別				
(対象者)		急病	交通事故	一般負傷	その他	計
		136	2	18	13	169
内訳	脳疾患	7				7
	心疾患	57				57
	呼吸系	7				7
	その他	65	2	18	13	98
搬送時の 医師の診 断の結果	死亡	119	2	14	11	146
	重症	14		3	2	19
	中等症	3		1		4
	軽症					